令和5年 低層住宅の
労働災害発生状況報告書

令和６年 ７月

一般社団法人**住宅生産団体連合会**

はじめに

（一社）住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業 201 社（昨年比▲45 社）から、労働災害データ及び関係資料をご提供いただき、令和５年の低層住宅の労働災害発生状況を把握することが出来ました。ここにご協力を賜りました関係各位に、深く感謝を申し上げます。厚労省より令和５年度の確定値が公表され、それによりますと全労働災害による死亡者数は新型コロナウイルス感染症への罹患によるものを除き 714 人（前年比▲20 人）と過去最少となりました。また建設業においては、212 人（前年 273 人）で、前年比 61 人減となり全産業 の 37.2%から 29.7%（前年 37.2%）と大幅に減少しました。４日以上の死傷災害に関しては、13,915 人（前年 13,995 人）で、前年比 80 人減とほぼ横ばいとなっています。業種別、事故の型別死亡災害発生状況では、建設業の「墜落・転落」災害は、昨年から減少していますが、いまだに 79 人の方が亡くなっています。さて、ご協力いただいたアンケート調査の結果、（一社）住宅生産団体連合会の構成団体の会員企業の令和 5 年の労働災害発生件数は 379 件（前年比 53 件増）となりました。数年来の増加傾向を抑えるべく当会員による安全活動を実施してきた中で再び増加傾向で推移されているという形になりましたが、一方で死亡災害は 2 人（前年 4 人で 2 人減）となりました。これをゼロとすべく、より効果的な取組みをお願い致します。災害の型別発生状況では、重篤化する「墜転落」によるものが、依然として発生するなか、脚立・足場・ハシゴからの墜落災害が多数を占めていることから危険予知活動が、重要と思われます。また業界全体で増加する高齢な技能者に配慮した職場づくりが、急務と考えられます。住宅建築における主力職種である「大工」の高齢化も深刻な状況ですが、災害を減少させるため、高齢技能者に対しきめ細やかな取組みが必要です。当連合会では、「災害ゼロ」「危険ゼロ」「安全先取り」の現場の実現を目指して、昨年に引き続き職場・現場での働き方を見直し、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）活用推進による生産性の向上を図る活動や、建災防の新ヒヤリハット報告の導入などを関係部門と連携して建設業の働き方改革を推進して参ります。関係団体ならびに会員各位の一層のご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

令和６年７月

一般社団法人 住宅生産団体連合会　工事ＣＳ･安全委員会

１．労働災害発生状況の調査について

(一社)住宅生産団体連合会の会員団体である下表団体所属の会員企業に対して、休業４日以上の労働災害発生状況について、アンケート調査を実施した（『令和５年低層住宅の労働災害発生状況報告書』４３～４５頁参照)。 令和５年のアンケート報告企業総数は２０１社であり、過去８年間（平成２８～令和５年）を含めた団体別報告企業数推移は表１－１の通りである。

表 1-1 アンケート報告企業数推移

所属団体	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
プレハブ建築協会	19社	16社	14社	14社	15社	15社	14社	14社
日本ツーバイフォー建築協会	219社	112社	104社	104社	115社	96社	97社	83社
日本木造住宅産業協会	116社	125社	98社	135社	105社	86社	62社	78社
全国住宅産業協会	71社	71社	56社	30社	42社	32社	22社	17社
全国中小建築工事業団体連合会	52社	66社	32社	0社				
JBN全国工務店協会				3社	5社	46社	49社	5社
輸入住宅産業協会	2社	5社	7社	3社	2社	2社	2社	4社
計	479社	395社	311社	289社	284社	277社	246社	201社

団体別、規模別、新築工事、増改築･リフォーム工事、解体工事別の労働災害発生件数は、**表１－２**の通りである。

表１－２ アンケート全体 団体別、規模別の労働災害発生件数(休業日数４日以上)

休業日数4日以上の労災件数		令和5年																		無記入
		全体									新築工事			増改築･リフォーム工事			解体工事			
		回答社数	完工棟数	割合%	内訳 新築件数	内訳 増改築･リフォーム工事件数	内訳 解体工事	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	
		201	423,171	100.0	118,512	295,566	9,093	379	100.0	0.90	348	100.0	2.94	24	100.0	0.08	7	100.0	0.77	0
団体別	プレハブ建築協会	14	272,924	64.5	46,155	222,853	3,916	142	37.5	0.52	130	37.4	2.82	8	33.3	0.04	4	57.1	1.02	0
	日本ツーバイフォー建築協会	83	38,295	9.0	9,398	28,244	653	41	10.8	1.07	33	9.5	3.51	7	29.2	0.25	1	14.3	1.53	0
	日本木造住宅産業協会	78	91,139	21.5	54,063	33,827	3,249	170	44.9	1.87	159	45.7	2.94	9	37.5	0.27	2	28.6	0.62	0
	全国住宅産業協会	17	15,419	3.6	6,871	7,471	1,077	16	4.2	1.04	16	4.6	2.33	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	JBN全国工務店協会	5	608	0.1	104	492	12	2	0.5	3.29	2	0.6	19.23	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	輸入住宅産業協会	4	4,786	1.1	1,921	2,679	186	8	2.1	1.67	8	2.3	4.16	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
規模別	3000棟以上／年	19	380,118	89.8	98,527	274,987	6,604	297	78.4	0.78	277	79.6	2.81	15	62.5	0.05	5	71.4	0.76	0
	1000~2999棟／年	11	20,252	4.8	6,819	11,610	1,823	29	7.7	1.43	26	7.5	3.81	3	12.5	0.26	0	0.0	0.00	0
	500~999棟／年	14	10,180	2.4	4,817	5,073	290	17	4.5	1.67	13	3.7	2.70	2	8.3	0.39	2	28.6	6.90	0
	100~499棟／年	48	10,116	2.4	6,843	2,974	299	31	8.2	3.06	28	8.0	4.09	3	12.5	1.01	0	0.0	0.00	0
	50~99棟／年	16	1,113	0.3	620	449	44	3	0.8	2.70	3	0.9	4.84	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下／年	85	1,392	0.3	886	473	33	2	0.5	1.44	1	0.3	1.13	1	4.2	2.11	0	0.0	0.00	0
	その他	8	0	0	0	0	0	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	–	0	0.0	-	0
工法別	木造在来軸組							180	47.5		169	48.6		10	41.7		1	14.3		0
	ツーバイフォー							44	11.6		40	11.5		4	16.7		0	0.0		0
	木質プレハブ							32	8.4		32	9.2		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨在来							1	0.3		0	0.0		1	4.2		0	0.0		0
	鉄骨プレハブ							113	29.8		102	29.3		7	29.2		4	57.1		0
	コンクリート在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	コンクリートプレハブ							4	1.1		4	1.1		0	0.0		0	0.0		0
	その他							1	0.3		1	0.3		0	0.0		0	0.0		0
	不明							4	1.1		0	0.0		2	8.3		2	28.6		0

※(全体の 1000 棟当たり労働災害件数)＝(全体の労働災害件数)÷(新築棟数+増改築･リフォーム棟数+解体工事数)×1000
※(工事種別の 1000 棟当たり労働災害件数)＝(各工事の労働災害件数)÷(各工事の棟数)×1000
※規模別の規模は、新築工事、増改築･リフォーム工事、解体工事の総和

平成１８年調査より各団体の新築完工棟数上位会社（プレハブ建築協会３社、日本ツーバイフォー建築協会３社、日本木造住宅産業協会３社、全国住宅産業協会　２社、全国中小建築工事業団体連合会２社（平成３０年まで）、ＪＢＮ２社（令和元年より）、輸入住宅産業協会２社、合計１５社）の団体別、規模別、新築工事、増改築･リフォーム工事、解体工事別の労働災害発生件数の定点観測を行っている。集計結果は、表１－３の通りである。

表１－３　定点観測（ 団体別、規模別の労働災害発生件数(休業日数４日以上 ）

令和５年

定点観測		令和5年																		
休業日数4日以上の労災件数		全体									新築工事			増改築･リフォーム工事			解体工事			無記入
		回答社数	完工棟数	割合%	内訳 新築件数	内訳 増改築･リフォーム工事件数	内訳 解体工事	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	
		15	243,718	100.0	64,799	174,558	4,361	172	100.0	0.71	163	100.0	2.52	6	100.0	0.03	3	100.0	0.69	0
団体別	プレハブ建築協会	3	173,364	71.1	27,624	144,642	1,098	93	54.1	0.54	89	54.6	3.22	3	50.0	0.02	1	33.3	0.91	0
	日本ツーバイフォー建築協会	3	23,714	9.7	4,879	18,305	530	23	13.4	0.97	19	11.7	3.89	3	50.0	0.16	1	33.3	1.89	0
	日本木造住宅産業協会	3	31,449	12.9	25,938	2,973	2,538	31	18.0	0.99	30	18.4	1.16	0	0.0	0.00	1	33.3	0.39	0
	全国住宅産業協会	2	11,617	4.8	5,239	6,378	0	15	8.7	1.29	15	9.2	2.86	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	JBN全国工務店協会	2	357	0.1	87	260	10	2	1.2	5.60	2	1.2	22.99	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	輸入住宅産業協会	2	3,217	1.3	1,032	2,000	185	8	4.7	2.49	8	4.9	7.75	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
規模別	3000棟以上／年	8	236,190	96.9	60,656	171,898	3,636	141	82.0	0.60	134	82.2	2.21	5	83.3	0.03	2	66.7	0.55	0
	1000～2999棟／年	3	5,956	2.4	3,329	2,000	627	16	9.3	2.69	16	9.8	4.81	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	500～999棟／年	1	854	0.4	366	400	88	9	5.2	10.54	7	4.3	19.13	1	16.7	2.50	1	33.3	11.36	0
	100～499棟／年	2	639	0.3	371	260	8	4	2.3	6.26	4	2.5	10.78	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	50～99棟／年	1	79	0.0	77	0	2	2	1.2	25.32	2	1.2	25.97	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下／年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－	0
工法別	木造在来軸組							45	26.2		44	27.0		0	0.0		1	33.3		0
	ツーバイフォー							25	14.5		23	14.1		2	33.3		0	0.0		0
	木質プレハブ							20	11.6		20	12.3		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨プレハブ							80	46.5		76	46.6		3	50.0		1	33.3		0
	コンクリート在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	コンクリートプレハブ							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	その他							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	不明							2	1.2		0	0.0		1	16.7		1	33.3		0

令和４年

定点観測		令和4年																		
休業日数4日以上の労災件数		全体									新築工事			増改築･リフォーム工事			解体工事			無記入
		回答社数	完工棟数	割合%	内訳 新築件数	内訳 増改築･リフォーム工事件数	内訳 解体工事	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	災害件数	割合%	1000棟当たり災害件数	
		15	226,239	100.0	52,055	169,614	4,570	179	100.0	0.79	166	100.0	3.19	9	100.0	0.05	4	100.0	0.88	0
団体別	プレハブ建築協会	3	177,318	78.4	31,145	145,039	1,134	114	63.7	0.64	107	64.5	3.44	7	77.8	0.05	0	0.0	0.00	0
	日本ツーバイフォー建築協会	3	24,773	10.9	4,658	19,563	552	17	9.5	0.69	15	9.0	3.22	2	22.2	0.10	0	0.0	0.00	0
	日本木造住宅産業協会	3	19,546	8.6	12,195	4,548	2,803	31	17.3	1.59	28	16.9	2.30	0	0.0	0.00	3	75.0	1.07	0
	全国住宅産業協会	2	2,887	1.3	2,823	17	47	8	4.5	2.77	8	4.8	2.83	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	JBN全国工務店協会	2	308	0.1	51	243	14	2	1.1	6.49	1	0.6	19.61	0	0.0	0.00	1	25.0	71.43	0
	輸入住宅産業協会	2	1,407	0.6	1,183	204	20	7	3.9	4.98	7	4.2	5.92	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
規模別	3000棟以上／年	7	217,175	96.0	45,200	168,038	3,937	150	83.8	0.69	138	83.1	3.05	9	100.0	0.05	3	75.0	0.76	0
	1000～2999棟／年	4	7,979	3.5	6,243	1,122	614	22	12.3	2.76	22	13.3	3.52	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	500～999棟／年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	100～499棟／年	3	1,035	0.5	607	411	17	6	3.4	5.80	5	3.0	8.24	0	0.0	0.00	1	25.0	58.82	0
	50～99棟／年	1	50	0.0	5	43	2	1	0.6	20.00	1	0.6	200.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	49棟以下／年	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0	0.0	0.00	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－	0	0.0	－	0
工法別	木造在来軸組							44	24.6		40	24.1		0	0.0		4	100.0		0
	ツーバイフォー							20	11.2		18	10.8		2	22.2		0	0.0		0
	木質プレハブ							17	9.5		17	10.2		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	鉄骨プレハブ							98	54.7		91	54.8		7	77.8		0	0.0		0
	コンクリート在来							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	コンクリートプレハブ							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	その他							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0
	不明							0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0

２．完工棟数と労働災害発生件数の推移

令和５年の調査概要は、調査企業数 201 社（前年より 45 社減少）、完工棟数（新築）118,512 棟（前年比 120%）、(増改築･リフォーム) 295,566 棟（前年比 89%）、(解体) 9,093 棟（前年比 92%）、労働災害件数は 379 件（前年より 53 件増加）である。（表２－１参照）

労働災害発生件数（絶対数）（図２－１）を見ると、完工棟数の合計が 16,468 棟減少（前年比 96%）している中、全体として 53 件増加（前年比 116%）となった。内訳は新築工事で 54 件増加（前年比 118%）、増改築・リフォーム工事で 2 件減少（前年比 92%）、解体工事で 1 件増加（前年比 117%）となり、新築工事が全体を増加させる形となった。また、労働災害発生件数（1000 棟当たり）（図２－２）を見ると、全体として前年比 122%の増加で、内訳は新築工事で前年比 98%の減少、増改築・リフォーム工事で前年と同数、解体工事で前年比 128%の増加となり、解体工事の増加傾向を抑制するための効果的な対策が必要である。

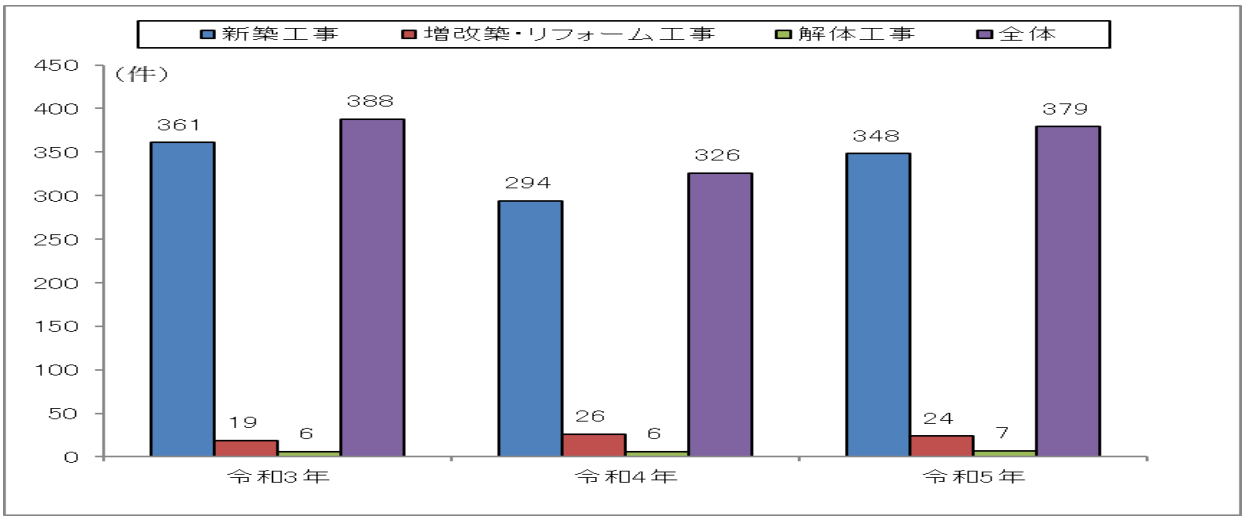
労働災害防止の基本は、労働安全衛生関係法令を遵守し法令に従った対策を取ること、安全な作業を定着させるために全員がリスクアセスメント及びＫＹ活動に積極的に取組み、危険に対する認識、安全意識を高めることが重要である。また、デジタル技術による安全機能の向上で災害の未然防止を図り、安全安心な職場環境づくりに取り組むことも必要である。

表２－１　調査企業数・完工棟数・労働災害件数推移

注）労働災害件数は休業４日以上の災害で、一人親方、事業主等を含む。

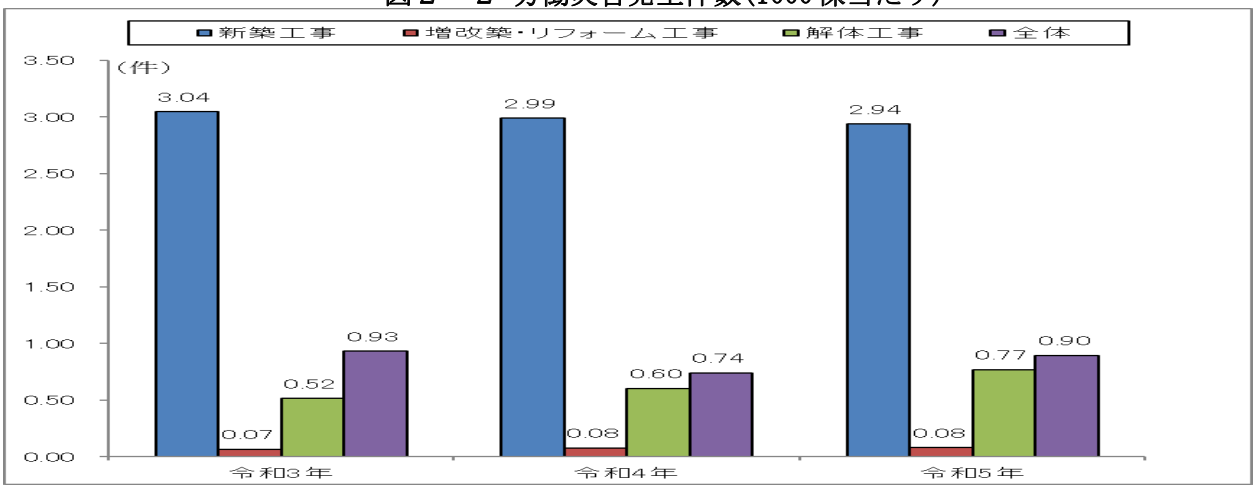
		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
調査企業数		395社	311社	289社	284社	277社	246社	201社
完工棟数（棟）	新築	146,112	138,977	140,144	131,437	118,596	98,393社	118,512
	増改築･リフォーム	303,155	378,576	355,026	250,085	285,409	331,319社	295,566
	解体	8,612	15,470	9,402	8,774	11,628	9,927社	9,093
労働災害件数（件）		374	392	456	388	388	326	379

図２－１　労働災害発生件数(絶対数)



※全体には工事種不明の労働災害発生件数を含む。工事種不明件数は令和３年が２件、令和４年が０件、令和５年が０件

図２－２　労働災害発生件数(1000棟当たり)



※(労働災害発生件数)÷（新築工事棟数+増改築･リフォーム工事棟数+解体工事棟数）×1000

労働災害発生状況を企業規模別に見るため、アンケート報告企業を年間完工棟数に応じて表２－２のように分類した。

表２－２　規模別企業数推移

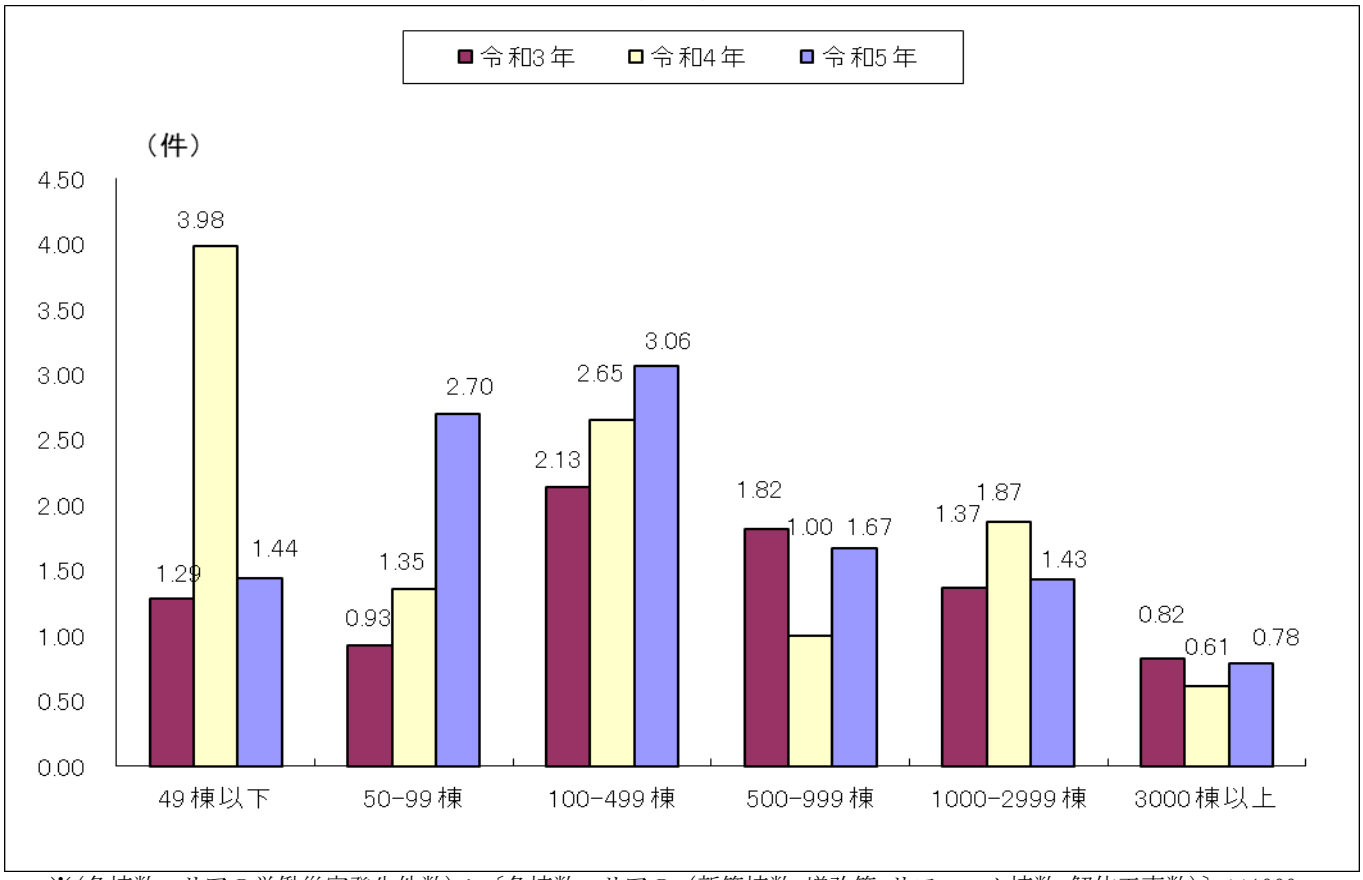
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
年間完工3000棟以上	21社	18社	19社	25社	17社	18社	17社	19社
1000～2999棟	25社	17社	14社	9社	15社	11社	9社	11社
500～999	22社	22社	14社	20社	17社	24社	16社	14社
100～499	104社	80社	64社	68社	66社	59社	55社	48社
50～99	64社	55社	35社	39社	31社	30社	22社	16社
49棟以下	243社	203社	165社	128社	138社	135社	120社	85社
規模不明･その他	0社	0社	0社	0社	0社	0社	7社	8社
計	479社	395社	311社	289社	284社	277社	246社	201社

※年間完工棟数は、新築工事、増改築･リフォーム工事、解体工事の合計

令和５年の 1,000 棟当たりの規模別労働災害発生件数は、図２－３のとおりである。
全体としては、増加（令和３年 0.93、令和４年 0.74、令和５年 0.90）となっている。
全体増加の要因としては『3,000 棟以上』のレンジで増加したことが全体に大きく影響している。
各レンジにおいては、『49 棟以下』、『1,000-2,999 棟』、は減少し、『50-99 棟』、『100-499 棟』、『500 棟-999 棟』、『3,000 棟以上』、は増加となった。

当該調査における完工棟数の推移は表２－３のとおりである。(完工棟数は、新築工事は増加したが、増改築・リフォーム工事は減少し、全体としては減少している。）また、『1,000-2,999 棟』、『500 棟-999 棟』、の完工棟数は増加したが、それ以外のレンジでは完工棟数が減少している。『3,000 棟以上』の調査回答者数が 19 社で全体 201 社の 9.5%程度にもかかわらず、完工棟数は全体の 89.8%を占めている為、全体に対する影響は大きい。労働災害発生件数は、『3,000 棟以上』、『500-999 棟』、『50-99 棟』、で前年度より 62 件の増加となり、一方、『1,000 棟-2,999 棟』、『100-499 棟』、『49 棟以下』、『規模不明・その他』で 9 件の減少となっている。労働災害発生率は全体 379 件発生し、前年より 53 件増加となり、前年比 16%増となった。全体の 1,000 棟当たりの労働災害件数を減らすうえでは、完工棟数が多いレンジ、及び、完工棟数が減少しているレンジの労働災害発生件数の推移が重要であり、全体に影響を与えることになる。

図２－３ 規模別労働災害発生件数（1000 棟当たり）



※(各棟数エリアの労働災害発生件数)÷〔各棟数エリアの（新築棟数+増改築･リフォーム棟数+解体工事数)〕×1000

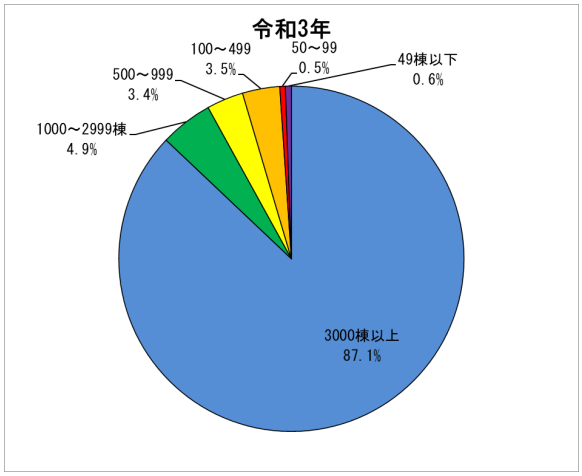
表２－３　規模別完工棟数 及び 労働災害発生件数推移

	完工棟数						災害発生件数						
			令和5年						令和5年				
	令和3年	令和4年	新築工事	増改築・リフォーム工事	解体工事	合計	令和3年	令和4年	新築工事	増改築・リフォーム工事	解体工事	無記入	合計
年間完工3000棟以上	361,842	397,973	98,527	274,987	6,604	380,118	298	243	277	15	5	0	297
1000～2999棟	20,467	16,058	6,819	11,610	1,823	20,252	28	30	26	3	0	0	29
500～999	14,309	10,048	4,817	5,073	290	10,180	26	10	13	2	2	0	17
100～499	14,521	12,071	6,843	2,974	299	10,116	31	32	28	3	0	0	31
50～99	2,161	1,478	620	449	44	1,113	2	2	3	0	0	0	3
49棟以下	2,333	2,011	886	473	33	1,392	3	8	1	1	0	0	2
規模不明・その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
計	415,633	439,639	118,512	295,566	9,093	423,171	388	326	348	24	7	0	379

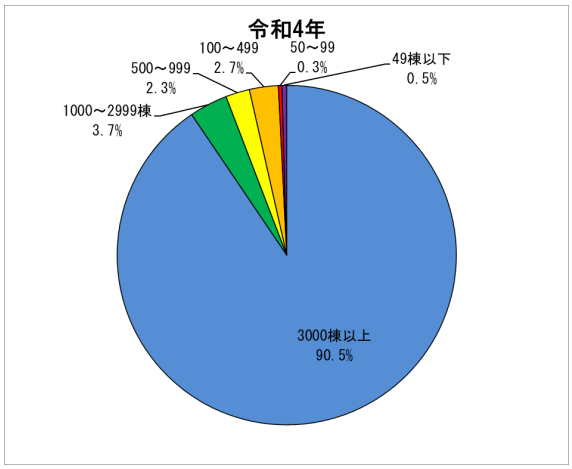
※規模分けは、新築工事、増改築･リフォーム工事、解体工事の合計による。

図２－４　規模別完工棟数比率

令和３年



令和４年



令和５年

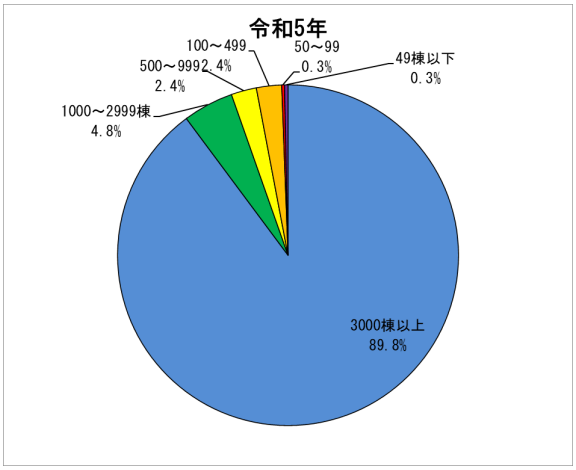
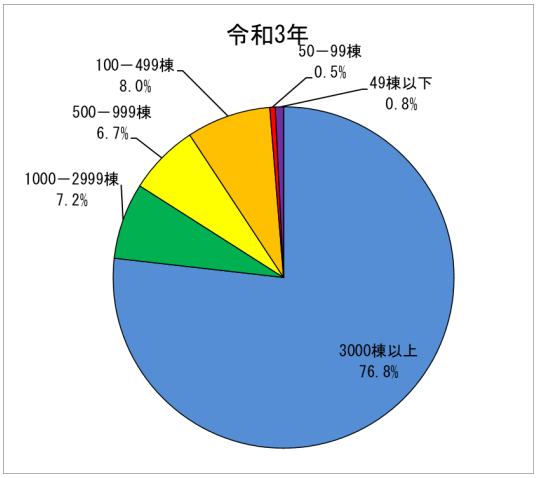
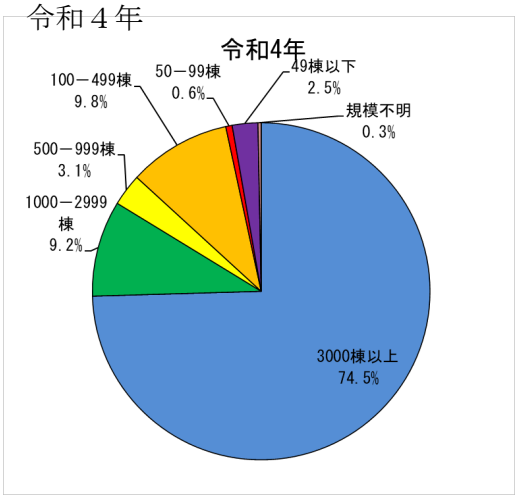


図２－５　規模別労働災害発生率

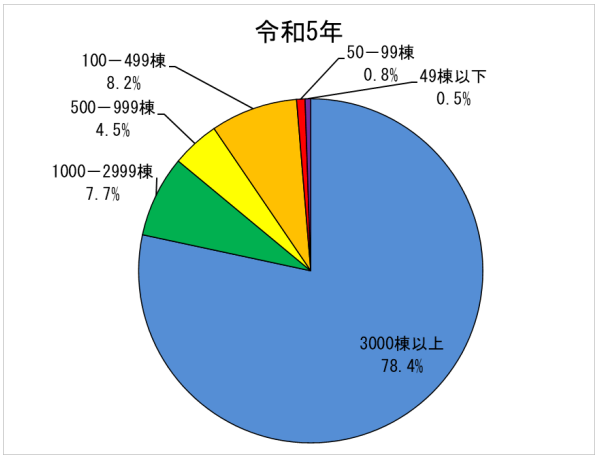
令和３年



令和４年



令和５年



３．作業分類別労働災害発生状況

令和５年においては、基礎、足場、建方工事の災害発生比率が若干減少したが、内部造作工事で昨対比約２倍の顕著な増加に転じ、外部造作、外装でも増加している。

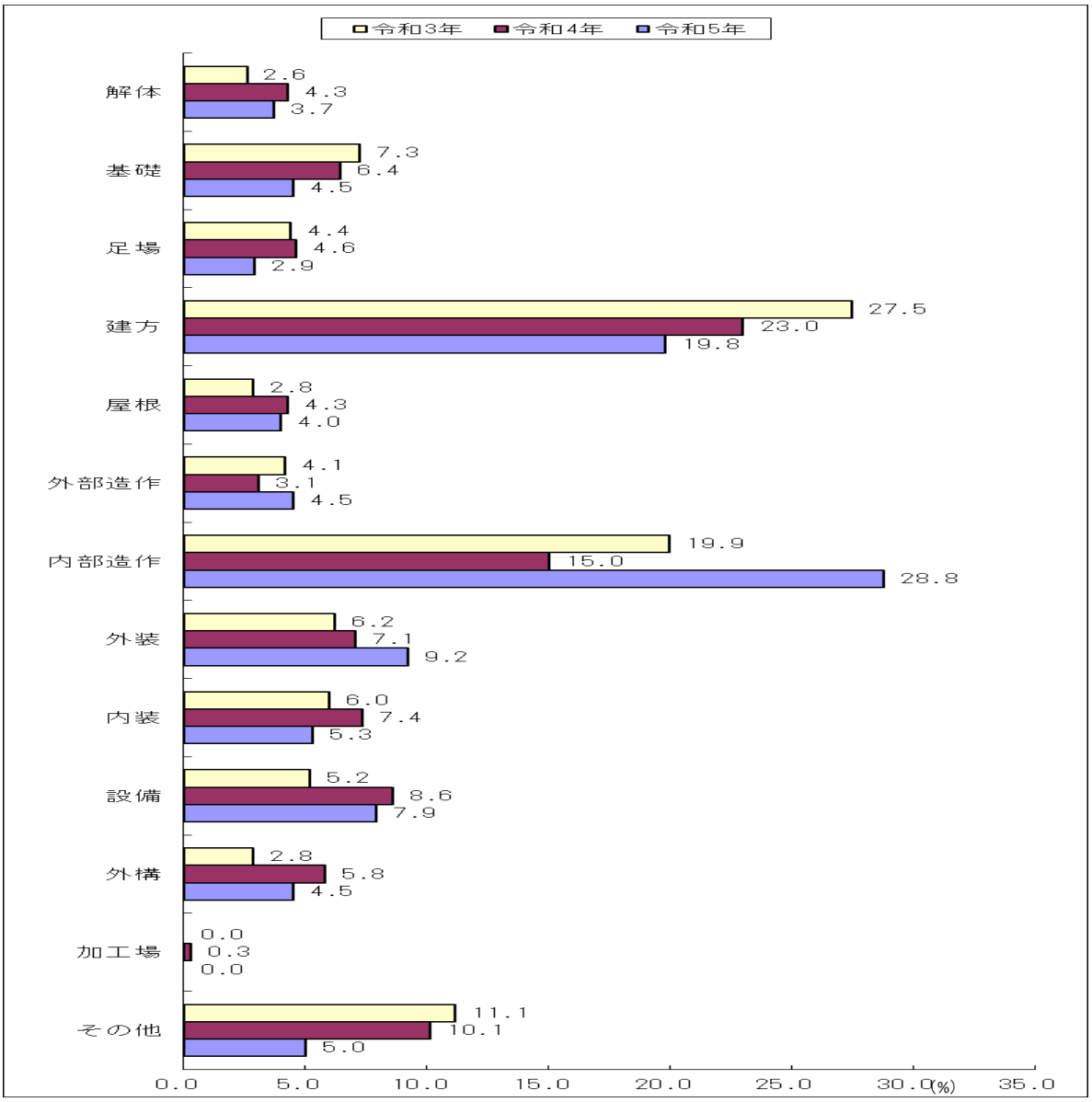
そして、建方と内部造作工事を併せると全体の約５割の事故発生となっており、重点的かつ恒久的な改善が急務となっている。

建方工事においては、墜落制止用器具（フルハーネス）を着用し、フックを腰より高い位置に掛けて作業するなど基本動作の徹底と足場設置基準遵守などの作業環境の整備が重要となってくる。

また、内部造作は脚立が使われることが多いが、手軽に扱えるということと高所作業ではないという油断から不安全行動を誘発しやすい環境にあるため、天板上での作業禁止はもちろん脚立の正しい使い方を遵守させるとともに脚立に替えて足場台の普及促進が必要である。

併せて電動工具については定期点検の履行はもちろん、日々の作業開始前・作業終了後の点検並びに作業手順の周知・理解を徹底させることが肝要である。

図３．作業分類別労働災害発生状況



※ その他の発生内訳：荷揚、雑工、美装、基礎補強、資材搬入など。

４．職種分類別労働災害発生状況

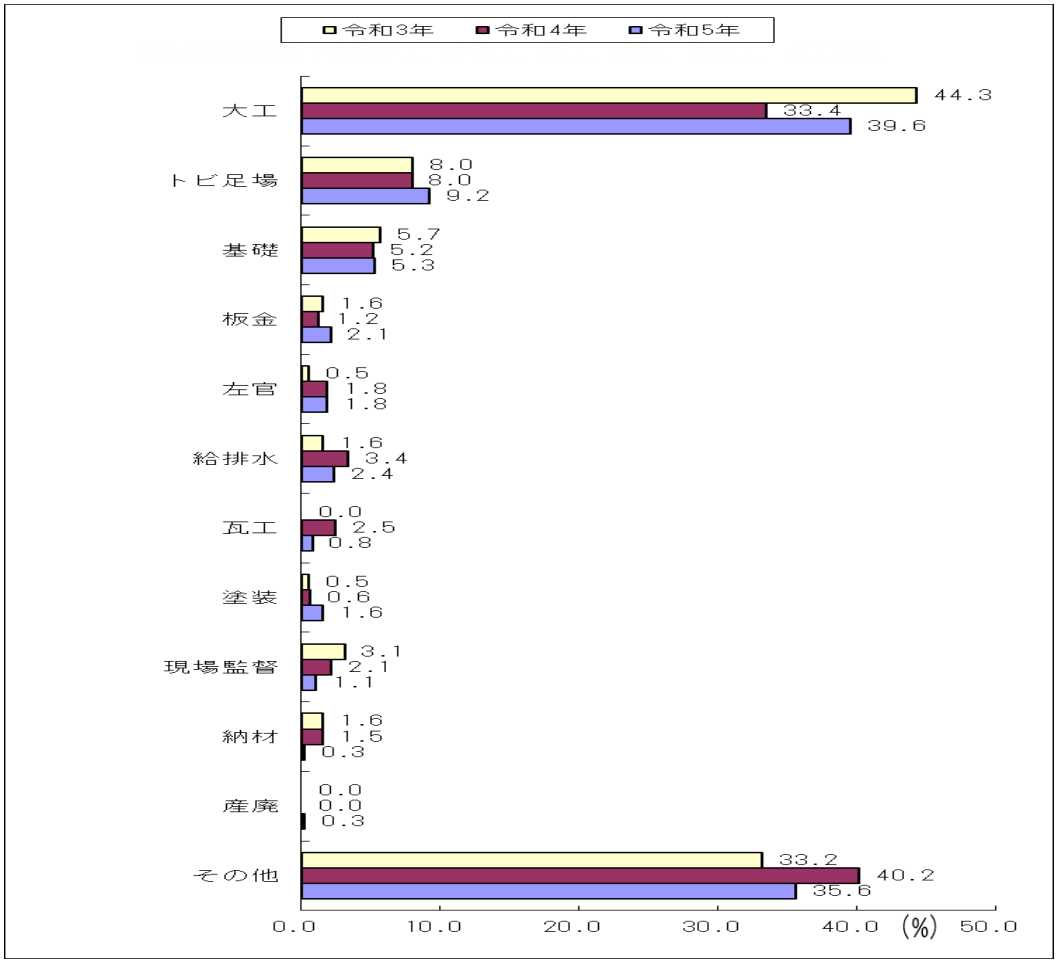
令和５年度の職種分類別労働災害発生状況は、「大工」の労働災害が全職種の約４割を占めており、現場での、作業時間が最も長い「大工」が、例年と同じく全職種中、最も高い発生割合となっている。また、前年１１ポイント減少した「大工」が今年、また増加している。これは「大工」においては、職人の高齢化が進んでいる職種であり、労働災害発生は高齢化による身体の衰えの影響もあると思われる。今後もその傾向は注視していくべきである。

災害発生頻度の最も多い墜転落の災害リスクのある職種としては、脚立を多く利用する職種である「大工」や、高所での作業が必要な「トビ足場」といった職種があげられる。
その上、建設業では様々な電動工具や鋭利な刃物を使用する作業が多く、疲労等で気を抜いた際の工具による災害も後を絶たない状況である。

「その他」の職種では、例年同様に全体の３割を超える災害が発生している。「その他」の職種の中では、作業環境が不安定な「解体」作業での労働災害や、一現場に長期滞在しての作業を行うことが少ない多くの現場を巡回する職種は、現場毎の作業環境に不慣れゆえの労働災害が発生している。「現場監督」・「納材」といった職種の災害発生状況は減少が見られ、これは、現場での資材搬入時の安全通路や、配置計画、現場の整理・整頓、スピーデイな残材処理等、現場での安全管理が徹底されてきた成果であり、現場管理者においては引続き、安全管理を徹底していく必要がある。

次に、ここ数年の状況として、「とび足場」・「基礎」・「屋根、板金」・「大工」・「外構工」等、屋外の作業の多い職種では、熱中症の発症が顕著になっている。熱中症に関しては、全職種に発症リスクがあり、作業時における服装・装備や、作業計画、現場環境等、具体的な事前対策が必須となってくる。

図４．職種分類別労働災害発生状況



５．原因･型別労働災害発生状況

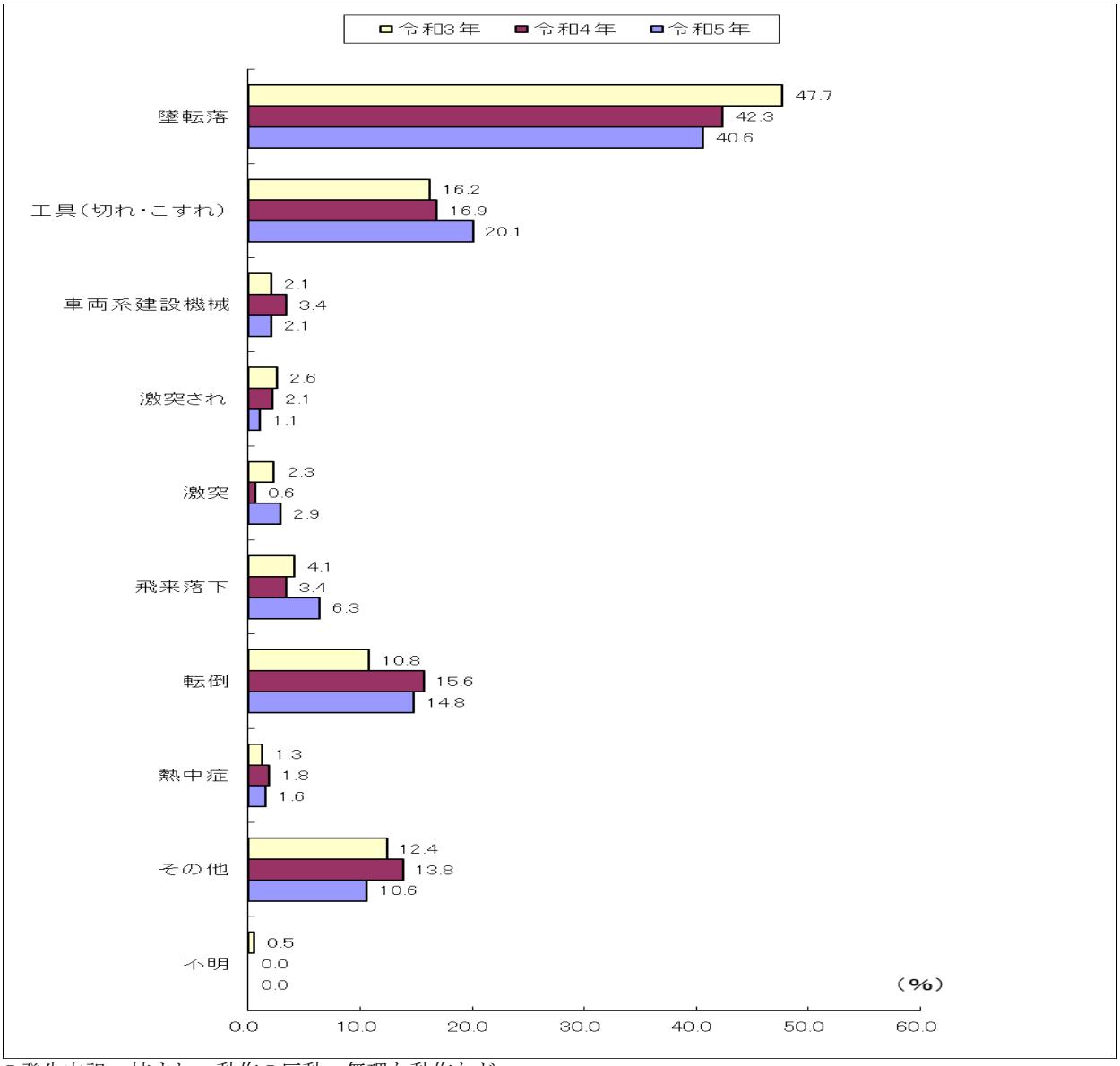
原因・型別労働災害発生状況は、近年減少傾向ではあるものの依然として「墜転落」（40.6%）が最も多く発生しており、続いて「工具（切れ・こすれ）」（20.1%）、「転倒」（14.8%）の順となっている。なかでも昨年は「工具」による事故が急増し、前記３項目で全体の約 3/4（75.5%）を占めている。

墜転落の内訳では、昨年比「屋根」からの転落が大きく増えており、又「開口部」や「ハシゴ」からの墜転落も同様に増えている。特に「屋根」や「開口部」からの墜転落は重大災害に繋がる危険性が高いので、手摺等の確実な設置と墜落制止用器具の使用を徹底させることが非常に重要となる。又「足場」からの転落は減ってはいるものの依然として多く発生しており、作業者には墜落制止用器具（フルハーネス）を着用させ、確実に使用する様、繰り返し指導しなければならない。「脚立」からの災害も依然として多く全体の約 1 / 4 を占めた。作業者の脚立使用状況の実態を把握したうえで、職長の指導・目配りが重要となる。

工具による「切れ・こすれ」の内訳では、昨年同様「丸鋸」、「釘打ち機」、「カッター」の順に事故が多く発生しており、全体の約 7 割（69.8%）を占めている。特に「丸鋸」による事故については近年増加傾向にあった中で更に大きく増えている事と、「釘打ち機」による事故が再度増加した事が気になる点である。「回転工具（丸鋸・グラインダ）」においてはキックバック防止機構付き工具導入の検討、「カッター」による事故においては耐切創手袋の着用等を検討することも急務である。

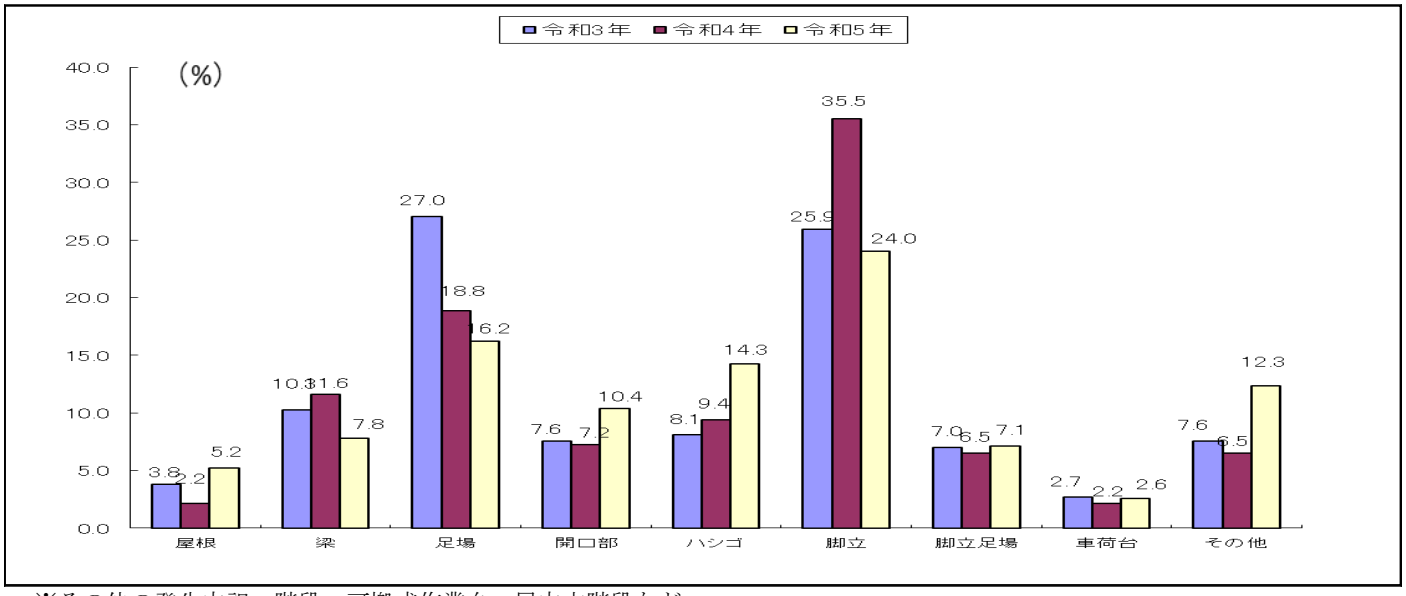
車両系建設機械では、「クレーン」、「ドラグショベル」による事故が増加しており、共に対前年比３割以上増えている。重大事故に繋がる危険性が高いので引き続き注視していく必要がある。

図５．原因･型別労働災害発生状況



※その他の発生内訳：挟まれ、動作の反動・無理な動作など。

図 5-1 原因・型別労災発生状況（墜転落の内訳）



※その他の発生内訳：階段、可搬式作業台、屋内本階段など。

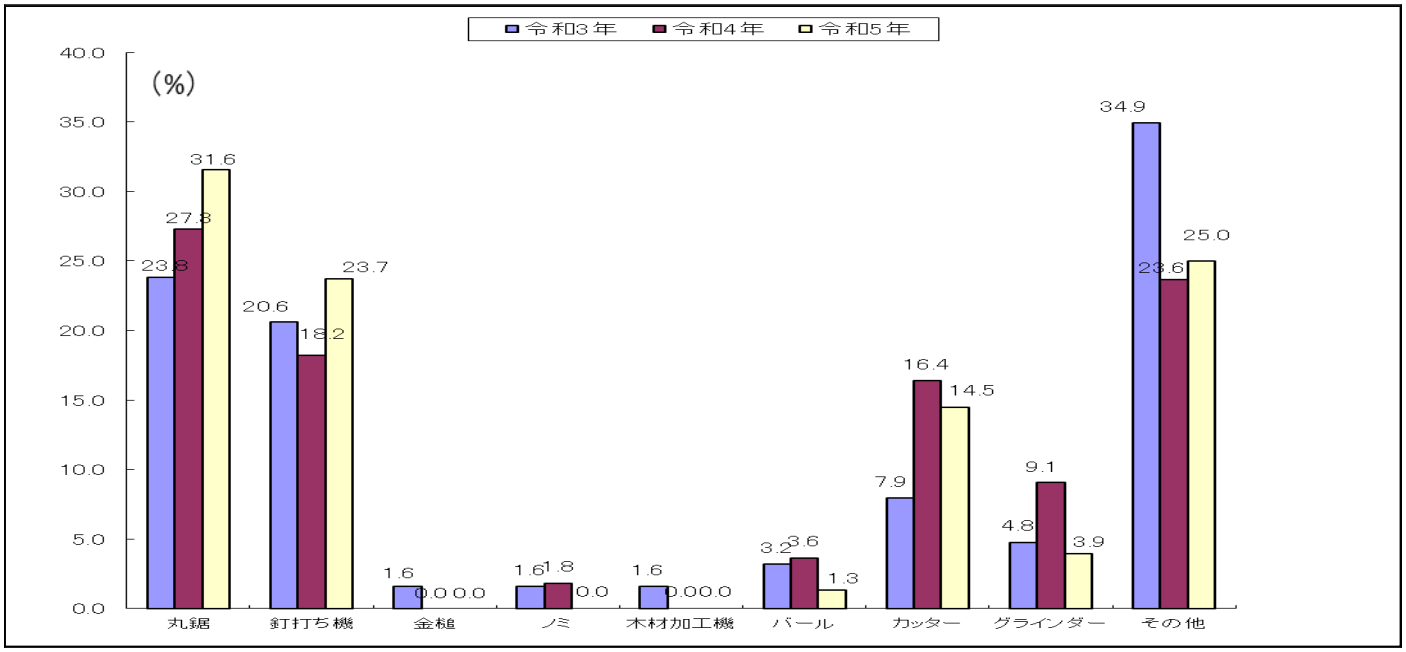
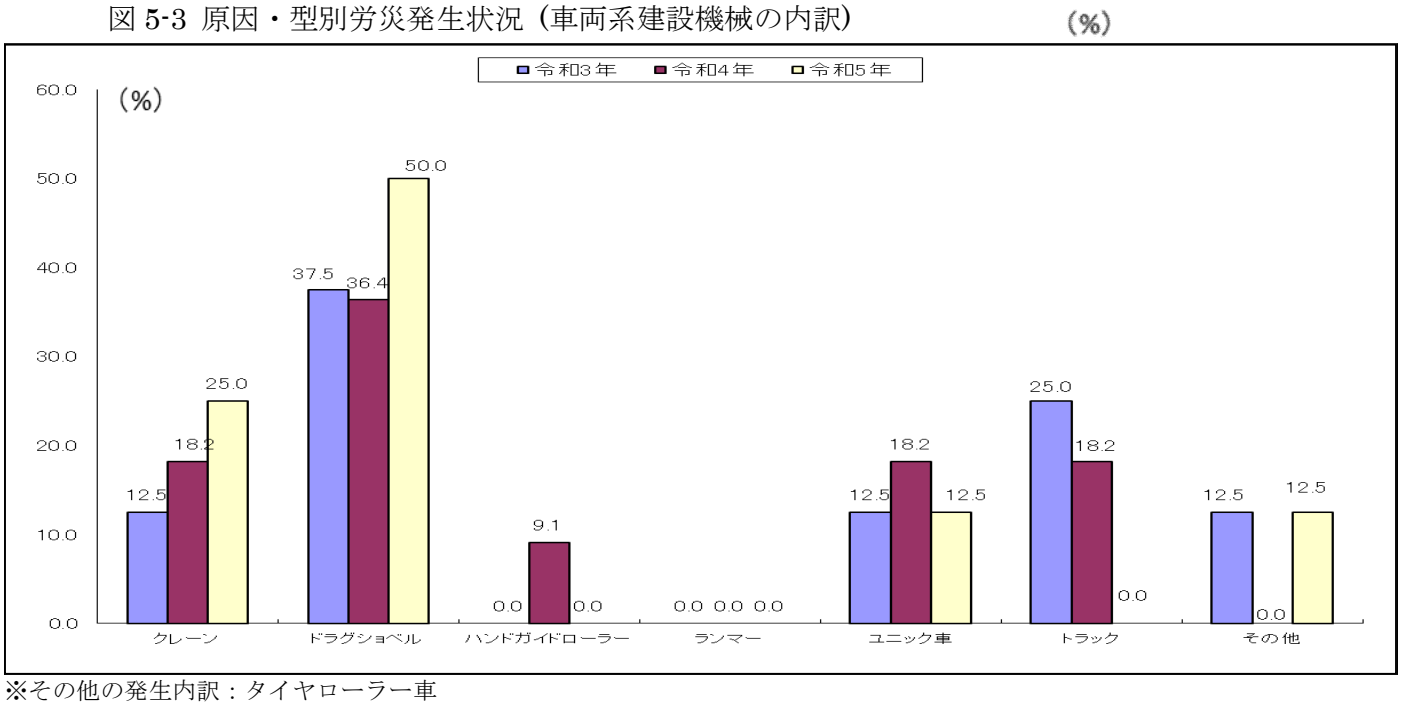


図 5-2　原因・型別労災発生状況（工具「切れ・こすれ」の内訳

※その他の発生内訳：鉄筋、電動ドリル、ジョイナーなど。

図 5-3 原因・型別労災発生状況（車両系建設機械の内訳）

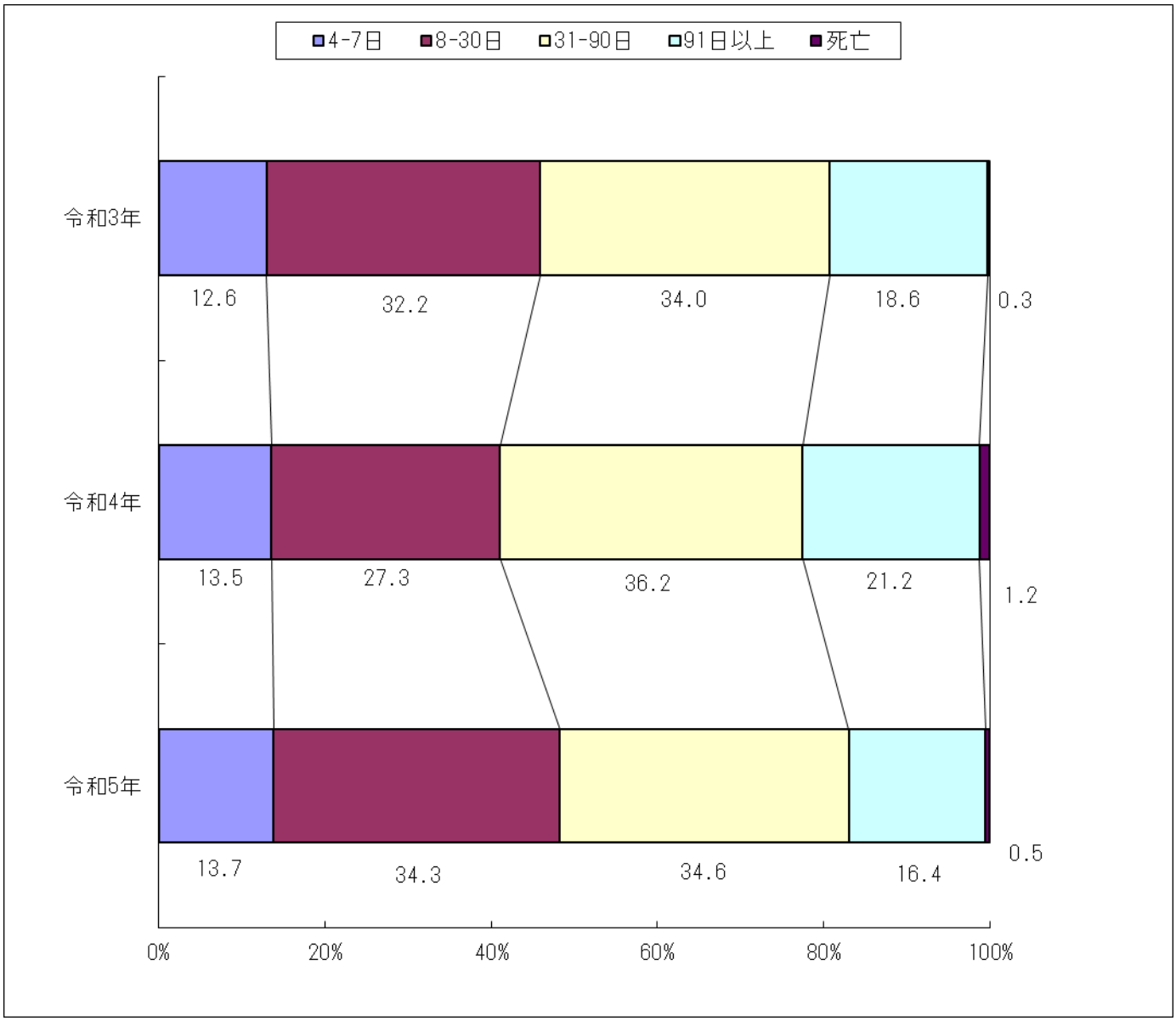


※その他の発生内訳：タイヤローラー車

６．休業日数別労働災害発生状況

労働災害の休業日数について、直近３年間では休業３１日以上の割合が５０％を超え高止まりしている。特に重大な災害につながる『墜転落』『電動工具』『車両系建設機械』『熱中症』について、元請業者・事業主が協力して労働者に安全衛生教育を行うとともに、現場での注意喚起やＫＹにより安全意識を高め、災害を未然防止することが重要である。

図６ 休業日数別労働災害発生状況



７．雇用形態別労働災害発生状況

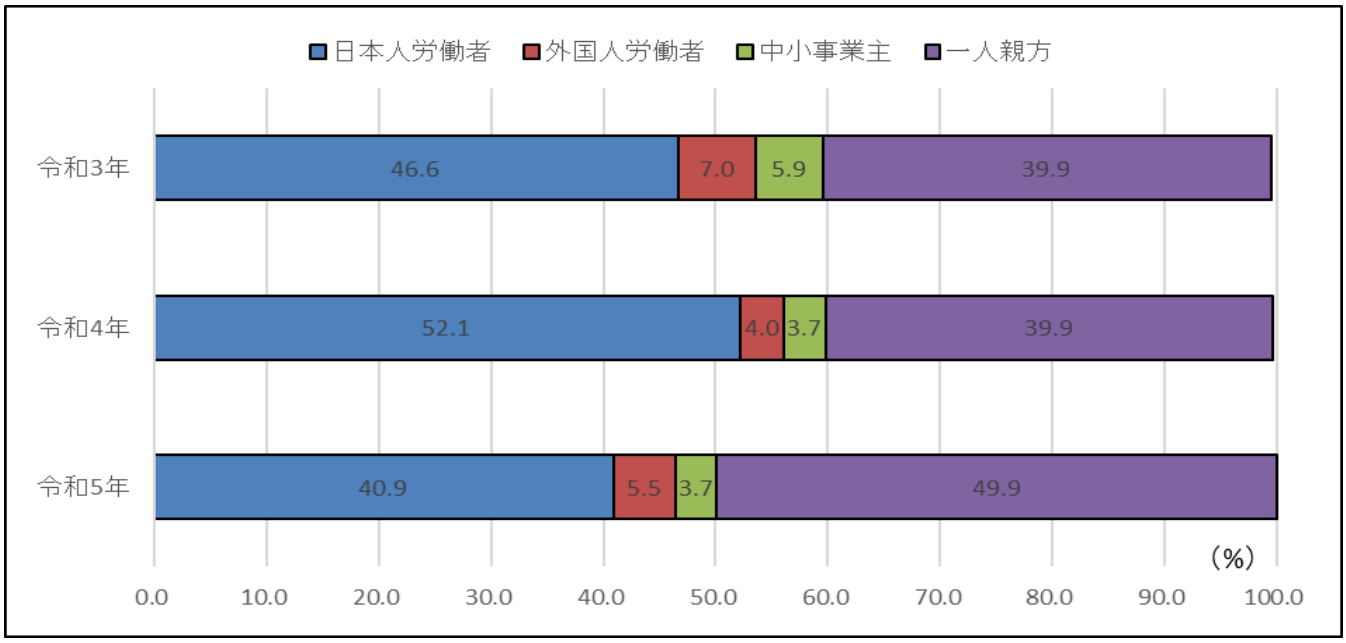
雇用形態別の割合を令和４年と比較すると、労働者（日本人と外国人の合計）▲９.７％、事業主±０.０％、一人親方+１０.０％となっており、「労働者」が減少した分、「一人親方」が増加した。

指導･教育する中心的な立場である「事業主」には、労働安全衛生に対する意識をより一層高めることが求められ、「一人親方」も含めた「労働者」への具体的な対応としては、安全衛生に係わる必要な知識･資格の習得･取得、災害未然防止安全活動の継続的な実施が挙げられる。

また、割合が大きく増えた「一人親方」に対しては、万が一の災害補償対策として「労災保険特別加入制度」等への加入促進が引き続き必要となる。

尚、外国人労働者に関する動向については、引き続き注視してゆく。

図７　雇用形態別労働災害発生状況



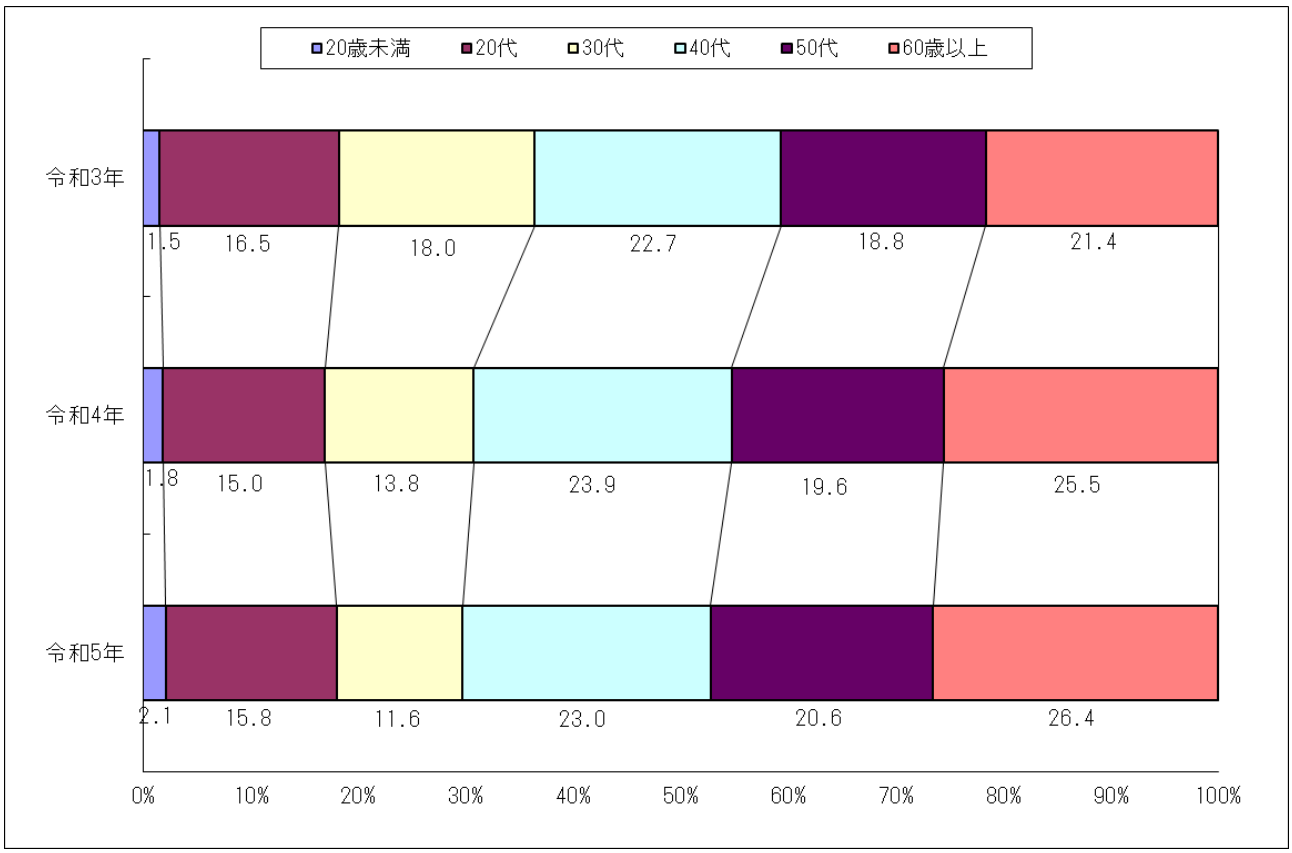
※不明が令和３年は２件、令和４年は１件、令和５年は０件。

８．年齢層別労働災害発生状況

令和５年は、令和４年に比べ５０歳代から６０歳以上で増加し、２０歳未満、２０歳代の年代層でも若干増加が見られたが４０歳以下全体の年代層では減少の傾向が見られた。令和５年全体で見ると６０歳以上の割合が２６．４％となり大きな割合を占める事となり、前年より０．９％増加している。５０歳代も前年より１％の増加がみられ高齢者の割合が増加している。今後も低層住宅工事に携わる高年齢化と、若い外国人労働者の増加が予想されるため、高年齢層を含めた低年齢層の災害発生比率の増加が懸念される。また、原因･型別労働災害発生状況では墜転落が最も高い割合を占めているため、労働災害防止に対して、安全衛生責任者（推進者を含む）および現場の管理・監督者は、現場巡視による作業者の日々の健康状態の把握をおこなうと共に、特に建て方作業や高所作業における適正配置を考慮し、正しい作業手順が確実に実施されているか確認し、危険の芽をいち早く摘むことが必要である。

また、特に被災者の多い中･高齢者作業者に対する新規入場者教育･送り出し教育を確実に実施し、職長・安全衛生責任者教育、能力向上教育など安全衛生教育を継続的かつ、定期的に実施することによって更なる安全に対する意識を高めていくことが重要である。

図８　年齢層別労働災害発生状況



※不明が令和３年は４件、令和４年は１件、令和５年は２件。

９．月別・曜日別・時間別 労働災害発生状況

月別の労働災害発生状況（図９－１）は、比較的作業に適した気候である４月～５月と１０月～１２月における発生率は低く、冬期の１月～３月と熱中症が影響する６月～９月は高い発生率が認められた。寒冷対策として保温・防風並びに準備運動等を推進するとともに、熱中症に関しては急激な気温・湿度の上昇を考慮して５月頃から暑熱順化の啓発に努め、温湿度計器の設置をはじめ、給水設備の設置、塩分補給への配慮、空調服・水冷服の導入、遮光対策・ミスト散布などの諸対策の充実に加えて、体温変化を把握し注意喚起を促すウェラブル端末等の導入が望まれる。

曜日別（図９－２）の発生状況に関しては、月曜日～金曜日の平日において１４．８％～１９．０％と発生率が平準化する傾向が伺える。特に令和５年は土曜日においても１６．９％と平日の平均を上回る発生率を示しており、今後の発生傾向について注視する必要がある。引き続き作業環境の変化に対応する適切なＫＹ活動の実施に加えて、週半ば以降においては疲労の蓄積による集中力の低下を招かないよう、無理のない作業計画の立案・実行が求められる。

時間帯別（図９－３）では例年と同様に午前中の９時台～１１時台にかけての発生率が最も高く、次いで午後１４時台～１６時台に比較的高い発生率を示す傾向が継続しており、令和５年は１８時以降においても５．２％の発生が認められた。午前、午後の作業開始前のＫＹ活動を励行し注意喚起を図るとともに、気候条件や労働の継続による疲労の蓄積に応じて適時の休憩を取得するなどの安全対策について、継続的に安全衛生教育を実施しなければならない。

図９－１．月別 労働災害発生状況

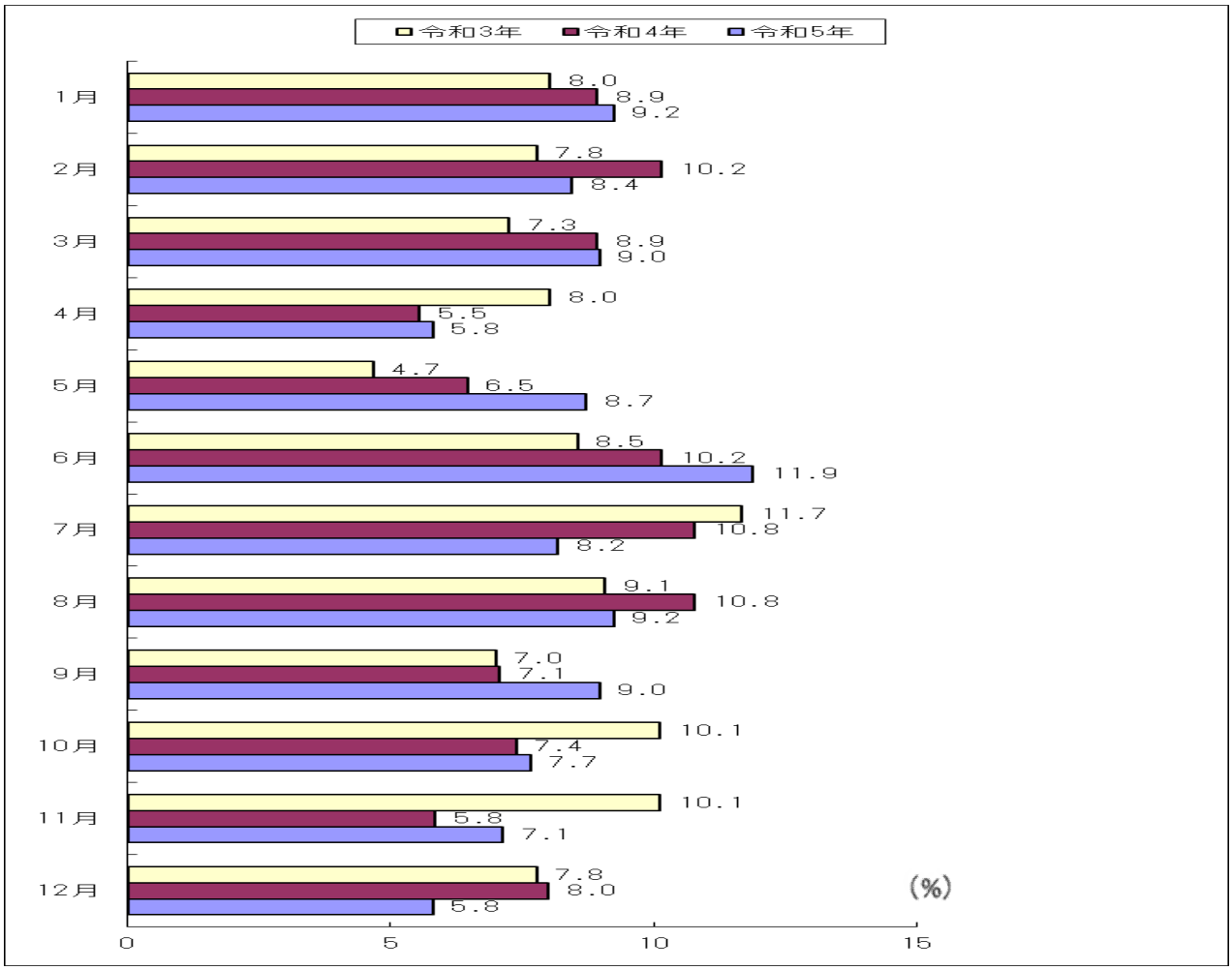


図９－２　曜日別 労働災害発生状況

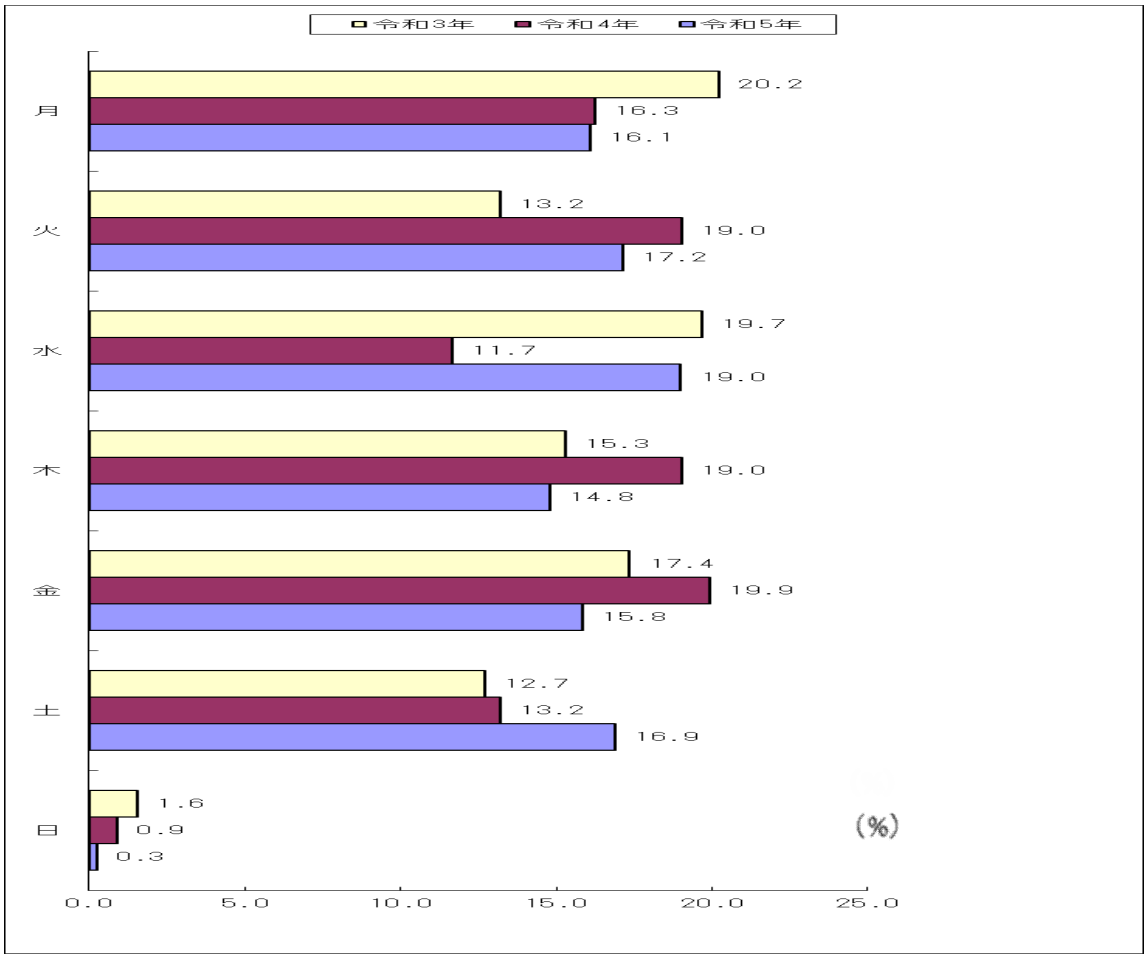
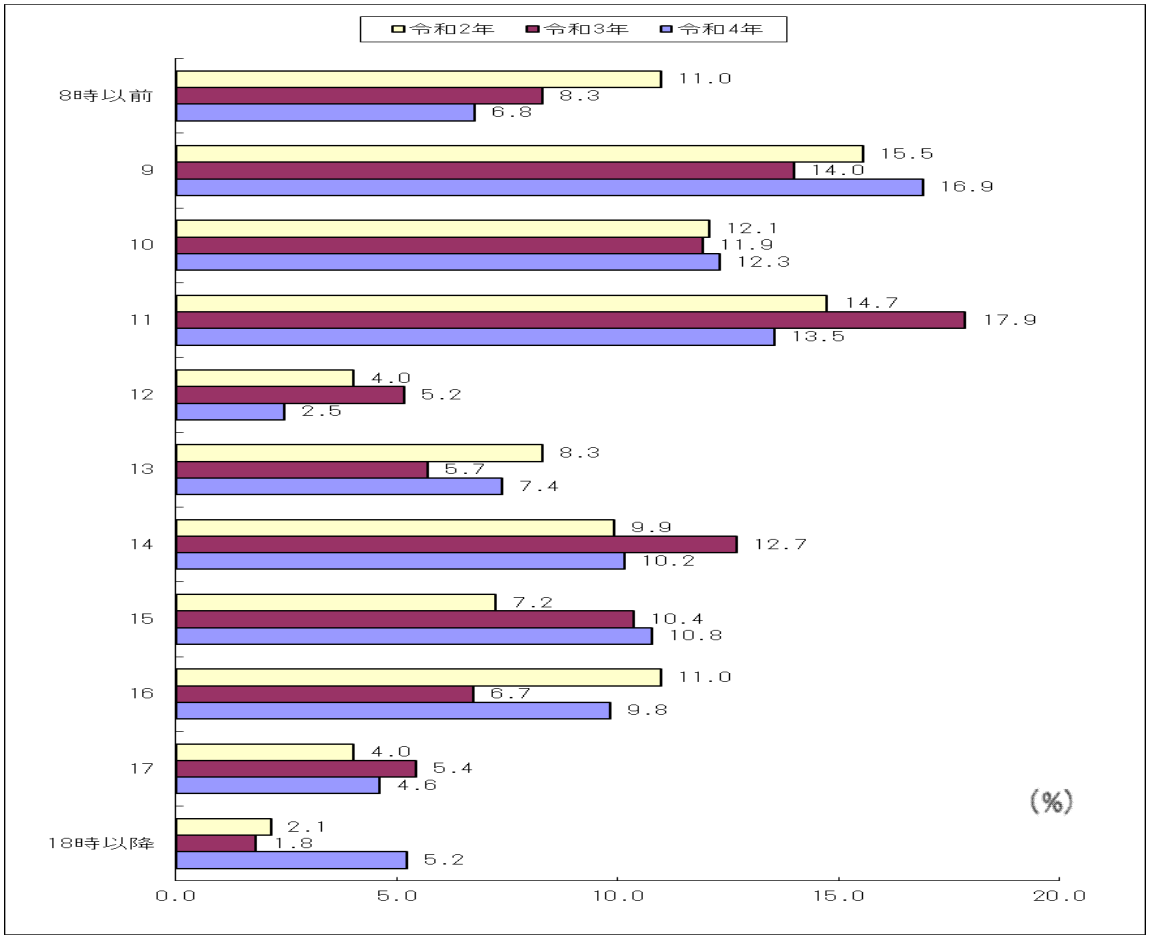


図９－３　時間帯別 労働災害発生状況



令和５年　労働災害発生状況（労災１～４日含む）

作業分類の「その他」(13)に対する回答　（図３）

・鉄板
・地盤改良(2 件)
・敷地調査（2 件）
・フレーミング(2 件)
・造成
・地盤改良業者
・現場監督　現場巡回・点検(3 件)
・仮設工事(4 件)
・雑工
・土台敷き(2 件)
・金属防水
・サッシ納品
・ UB 組立
・美装工事(5 件)
・荷揚げ(9 件)
・部材搬入（3 件）
・アンテナ
・警備

職種分類の「その他」(26)に対する回答　（図４）

・舗装工事
・溶接工
・仮設(2 件)
・土工(6 件)
・樋
・サッシ(2 件)
・指導員
・防蟻処理業者
・アンテナ
・設備工(2 件)
・UB 組立（2 件）
・記載なし(4 件)
・軒天
・荷揚工(32 件)
・建方(11 件)
・雑工(3 件)
・ボード工
・空調設備
・外装ボード張り
・ポンプ車オペレーター
・プレカット工場作業員
・給湯機
・設計士
・鉄板
・美装工(5 件)
・消防設備工
・建方工(6 件)
・地盤改良(3 件)
・太陽光パネル設置
・実習生(14 件)
・鳶(5 件)
・警備員
・吹き込み断熱職
・営業職

災害分類/墜転落の「その他」(19)に対する回答　（図５－１）

・屋内階段
・階段(3 件)
・可搬式作業台(5 件)
・自作足場（養生板）
・運搬中に段差につまづき転倒
・隣地境界擁壁（約 1.6m）
・小屋裏収納の折りたたみ式の梯子
・基礎(3 件)
・ボード
・フラットルーフ
・間柱
・RC 擁壁
・壁下地材
・道板

災害分類/切れ・こすれの「その他」(29)に対する回答　（図５－２）

・ランナー
・ジョイナー（2 件）
・スタッド小口（2 件）
・内装材
・電動ドリル
・基礎ベース鉄筋
・鉄筋(2 件)
・大引材
・根太受金物
・鉄板
・折板
・電動ドリル
・裂傷
・挫創
・ハサミ　刺傷
・押切
・合板で指を切った
・金属部材
・ﾓﾙﾀﾙﾐｷｻｰ（2 件）
・ヤットコが跳ね返り
・釘踏み
・電気カンナ
・電動ドリル逆回転
・小屋裏で頭を上げた瞬間上部　受け材に頭があたり裂傷
・インパクトドライバーで、ビットが指に刺さり出血菌が入り化膿
・木工ドリルに巻きこまれる
・板金材料切り口による裂傷
・着地の際足裏に排水金具刺さり骨折
・脚立から降りる際構造金物に接触し裂傷

災害分類/車両系建設機械の「その他」(36)に対する回答　（図５－３）

・タイヤローラー車

災害分類/「その他」(90)に対する回答　（図５）

・挟まれ(12 件)
・土の崩落
・足を捻り骨折(2 件)
・崩壊・倒壊(5 件)
・有害物等との接触
・踏み抜き(2 件)
・動作の反動
・防水材飛散
・嵌り
・動作
・巻き込まれ
・荷運び
・腰をひねる
・電線が目に入る
・動作の反動、無理な姿勢(2 件)
・動作の反動・無理な動作(4 件)
・はさまれ・巻き込まれ(5 件)
・側溝の蓋につま先が入り、右足を負傷
・梁受け金物が接触し、裂傷
・梯子と足場に左手が挟まり、裂傷
・オーガドリルに手袋巻き込まれ
・コンクリート取壊機械で右足を貫通
・持っていたベニアを足指に落とし骨折

災害分類＜墜転落＞の発生状況

- 建物内移動中に足場を踏み外し、２層目から地面へ転落。
- 足場で外壁塗装中、作業床を踏み外し転落。
- 内装工事中、床養生材が滑り、ハシゴが傾いて足場板から落下。
- 2 階から 1 階へ仮設階段で下りている時、仮設階段が滑り（未固定）一緒に落ちる。
- 樋取付中、屋根上に仮置きした材料を取ろうと足場手摺に乗った時、足が滑りバルコニー床に落ちる。
- 組立中、梯子に乗り下屋受材を取付けるためタイベックをはがそうとした時、バランスを崩し落ちる。
- 組立中、脚立に乗り矢切パネルを設置している時、足を踏み外し落ちる。
- 脚立に乗り内部配線中、バランスを崩し落ちる。
- 木工中、屋内階段を下りる際に、踏み外して転落し右足首を骨折した。
- シーリング工事、足場一層目歩行中、段差に躓き転落し腰椎を骨折した。
- 防水材荷揚げ中、給水管に躓き階段へ転落し、肋骨を骨折した。
- 足場解体中、足場一層目を移動中、足を踏み外して転落し腰を打撲した。
- 塗装作業、サル梯子を上っている時足を滑らせ転落し、踵を骨折した。
- 2 階窓から廃材を下ろす作業中、手摺が脱落して転落し背骨を骨折した。
- 基礎天端補修中、用途外使用した矢板が折れ、転落。（≒2,000 ㎜）
- 1.5m の RC 擁壁上で準備中、足を滑らせ転落し、土間コンクリートで頭部打撲。
- 材料不備で踊り場がない状態で、階段を養生中、足を踏み外し転落、左手首複雑骨折。
- 窓台を取付け中、脚立の足が土間コンの配線用箱抜き穴（100×300）に落ち込み、脚立と一緒に倒れ足首を土間に打ち付け捻挫。
- 1 階床梁取付作業中、上空の梁の位置を確認しようとし、壁に手を伸ばしたが届かず、バランスを崩した際に脚立がぐらつき、転落。
- 1 階共用部土間上で脚立で梁にプレートを取付け作業中、開き止めが、開ききっていなかった為、階段の箱抜き部分に脚立が入ってしまい、脚立の上から転落し、着地した際に、右足を強打。
- 外壁調整中、鉄骨軸組みにバールを差し込んで力を入れた際に、バールが外れバランスを崩し、脚立 4 段目から土間コンクリート上に転落し右肩を打撲。
- 1 階掃き出し窓下地を脚立足場にて取り付け中、バランスを崩して転落し、右足踵を強打。
- 2 階で床養生撤去中、床養生をはがしながら後方に進んだ際に向きを変えよ

うとしたが、左足を階段の上段框から踏み外し、左半身を下にしながら踊り場まで転落。

- 界壁ボード作業中、脚立からバランスを崩して肩・胸部から転落して肋骨を骨折。
- 梯子を昇っていて、5段目高さで足を滑らせ転落。
- 壁石膏ボード貼り作業中、脚立を降りようとして右足を脚立1段目にかけた時、踏み外して転倒し、着地した左足を捻挫。
- 2階用天井軽天材料のパレットに玉掛けをし、レッカーで荷を吊り上げ作業中、吊荷が傾き危ないと感じたので、トラックの荷台上から飛び降り、地面に置いている空のパレットの上に転落し腰を骨折。
- 玄関内部土間で天井ランナー取付作業中、脚立がぐらつき、バランスを崩して転倒し、框部分に腰と頭部を強打。
- 内部梯子架け替え作業中、梯子のバランスが崩れてしまい転落。
- 約50センチ平積みした石膏ボードに乗り天井張り作業を行った後、ボードから降りようとした際に、ボードリフターのホースが左足に絡まり、着地の際に足首を捻挫。
- 天井ボード貼り施工中、壁下地材に乗り施工し、材料が崩れ転落し、崩れた材料小口で腕を切傷。
- 垂木取り付け作業中、軒先側へ移動した時に谷木上部の固定ビスが抜け外周梁上で天秤となり軒下へ墜落し基礎の天端で腰を強打。
- 荷受けを終了したためトラックから降りる際、荷台（H=1.2m）から飛び降りようとして、あおりに引っかかり転落。
- 可搬式作業台から降りる途中に立ちくらみになり、バランスをくずして落下。
- 荷揚げ機を解体中、梯子を登り連結固定部を外した後、不安定になり梯子より転落し、着地した際に左足踵を骨折。
- 脚立上で、ホルダーに電動ドリルを戻す途中に梁にひっかかり、バランスを崩して、脚立より右ひじから基礎土間に転落。
- 天井点検口用ボードを開口作業中、脚立から降りようとして足を踏み外し、床に置いてあった電工ドラムの上に転倒し、肋骨を骨折。
- 天井野縁受けを施工中、脚立が床パネルからずれ落ち、そのまま落下し左肩を骨折。
- カーポートの屋根折板を敷き込み作業中、柱・梁を固定していた筋交いが外れ倒れてきたため、避けようとして脚立から飛び降り、地上に着地した際に左足脹脛を負傷。
- 2階吹抜けサッシ外部側を2連梯子にて掃除中、バランスを崩して梯子から転落しそうになり自ら梯子から飛び降りたが着地の際に腰と足を強打し骨

折。

- 脚立足場上でクレーンでの梁組作業中、設置していたクリーンケースに跨いて、バランスを崩し土間に背面から落下。土間上に置いていた樹脂パレットに右腰付近を強打。
- 基礎上移動中、右足を滑らせ落下した際に左足首を捻挫。
- 先行天井配線作業中、作業場所を変えようと脚立を降りるときに足を踏み外し転落し、手首と腰を強打。
- 梁上移動中、外部足場火打ちに接触しバランスを崩して、開口部から転落。
- 脚立からの昇降中、脚立から転落して、床に置いてあった回収 BOX に左太ももから落ちた後、右手を床についた時に右手首を骨折。
- 足場シート張中、墜落制止用器具の 2 丁掛フックをかけ替える際、体勢を崩して隣地ｶｰﾎﾟｰﾄに転落。
- 火打ち材を取付作業時、バランスを崩し土間部分に転倒。
- 住宅新築工事で 1 階の照明を付ける為に、2 階にある延長コードを持ち 1 階に降りようとして固定されていない建作くんの下部が滑り、倒れた建作くんの上に腰から墜落した
- 天井 PB 貼り作業時に作業台を側面から両手で PB を持ちながら持ち上げようとして足元の配管の留め具に足を取られて転倒した
- 平屋鉄骨建方作業時、ナイロンスリングにぶら下がってトラスによじ登り不安定になったトラスが傾き、加重によりボルト穴が広がりボルトからトラスが抜け、トラスとともに背面から墜落した
- 住宅現場で不要な工具と樋の材料を運搬している時に開口部になった場所に昇降設備があると勘違いし、前方確認せずに移動し墜落した
- 住宅の内装工事で天井パテ施工時、床コンセント開口に気づかず立馬を設置して作業員が昇降した際に立馬足が開口部にハマり立馬ごと転倒し被災した
- 木工事中に天井の防湿シートの張り込み作業中に立ち馬を降りた際、最下段を踏み外してバランスを崩し、着地した際に足を捻り骨折した。
- 住宅現場で弱電分配器取付作業中、工具を取る為に脚立から降りようとして脚立の２段目に左足を着いた際に、左足が滑りバランスを崩し転落して、右手を床に強打した。
- 集合住宅現場で脚立足場に乗って天井の外周部に気密テープの施工中、左足を踏み外し墜落。左手をついたため手首を骨折した。
- 平屋住宅新築工事の室内にて脚立から降りた際に、床面に置いてある間仕切り調整木材（104㎜×52㎜）を踏んで足首をひねりバランスを崩して転倒した。

- 足場５層目（地上8.8m）の内側手摺がない状況で（親綱も未設置）足を踏み外し、内側の建物三階床に墜落した。（高さ2.85m）
- 回り階段の腰壁施工中の石膏ボードをつかんで立ち上がろうとして際に、負荷がかかった石膏ボードが折れ、１階床へ転落した。
- 天井からぶら下げていた照明器具をずらそうとした時にバランスを崩し、立ち馬から飛び降りた際に足元にあった箱に躓き、後ろ向きに転倒した。
- 土間コンクリート打設前の基礎上で体勢を崩して、屋外給排水の配管施工のために掘削していた掘削底に背面から墜落した。
- カーポート屋根の張替え作業中、6尺脚立から降りる際に下から3段目に足をかける際に足元を踏み外し、後ろ向きに墜落し、地面に腰付近を強打した
- 仮囲いの単管の解体作業において、建地がクランプ留めの箇所を支点に回転し、それを掴んでいた被災者と共に滑り落ちる形で落下した。
- 軒樋塗装後、仕上がり確認を行う為、手摺に上り軒樋の上部を確認しようと身を乗り出した時にバランスをくずし、シートに倒れた。その際、シートが破れて、5m下の地上に墜落した。（安全帯未使用）
- 野地板を垂木に2枚並べて、1枚固定した後、固定されていないもう片方の上に乗り、墜落した。
- スライド式梯子を外壁に立て掛け、FIX窓の外部に付着していた汚れを落としていた際、梯子が突然折れ曲がり、地面へ墜落した。共同作業者は汚れを室内から確認する為移動した直後であった
- 廻り階段踊り場部分にて窓枠と上階床(腰壁未施工)の間に伸縮タイプの足場板を掛け作業中、バランスを崩し足場板、ボードとともに約1.5m下の階段へ墜落。
- 前面道路から2階バルコニーへキッチントップをロープにて荷揚げ中、脚立を使用して部材を両手で支えていた（補助していた）際、脚立から体勢を崩して墜落し、顔面を強打し、額と鼻口付近を裂傷した。
- 石膏ボードを持った状態で脚立に登る際、左足を踏板へ掛けた際に荷重が掛かり、左膝を捻り転倒。
- 基礎工事中、渡り足場から転落し受傷。
- クロス工事中、可搬式作業台（足場台）昇降時に転倒し受傷。
- 据付工事中、トラックキャビンより墜落し受傷。
- 室内仮設階段から転落し受傷。
- 外壁コーキング養生作業中に脚立から転落して手すりで脇腹打撲。
- 立馬から降りる際、最後の１段を踏み外し転倒。仙骨骨折（ヒビ）。
- 先行足場を組み換え中、足場が倒れ基礎内に飛び降り着地の際、骨折した。
- 蓄電池を車両から降ろし、現場内で手運びで運搬中、段差につまづき転倒し

右足首骨折。

- 下屋上でメンテナンス作業中、地面に降りようとした際、設置していた梯子が滑り落下した。
- 造作工事中、作業台と脚立を直列に配置し、作業台から脚立へ移動中踏み外し腱を負傷した。
- 造作工事中、脚立の脚がガス管の穴にはまりバランスを崩して落下した。
- 左官工事中、うま足場を使用した際にバランスを崩し飛び降りた時に足を捻った。
- 2 階バルコニーに梯子をかけて上がっている際にバランスを崩し墜落。
- サイディング工事中に梯子昇降時に梯子が傾いた為、飛び降りて着地時に右足骨折。
- 手に道具を持ち移動中に、つまずきバランスを崩し隣地境界擁壁から隣地に転落し、着地の際にアキレス腱を損傷した。
- クロス工事中、足場板固定不良の脚立足場上でバランスを崩し墜落。肋骨 4 本骨折および肺が腫れた。
- 外壁排気出口の確認のため足場を移動中、玄関ドア設置の為に足場作業床が取り外されたことに気づかず墜落し、骨盤を骨折した。
- 廃材積み込み作業中、誤って荷台より転落した。
- 床養生用のボードを運搬中、階段段板を踏み外し転落した。
- 脚立足場に乗って天井内の確認をした後バランスを崩し脚立足場から飛び降りた際に負傷した。
- 吹付工事中に外壁の養生作業をしていたところ、足場の作業床の巾が変わった部分から作業床を踏み外し墜落した。
- 1 階床下点検口に右足を踏み入れ、右足膝を強打した。
- 足場にて左官作業中、足場床を復旧せず作業し、右足を滑らせシャッターボックスに強打し右肩を脱臼した。
- 2 階の解体作業時、階段室の両脇の部屋から部屋に移動していた時に床開口部に気付かず、階段室廻り 3 段部分に墜落。
- 狭小な作業現場で 2 階バルコニーへの昇降に脚立を使用し、作業終了後自分が降りる際に肩が壁に当たり、バランスを崩し落下。
- ２階減築工事に於いて屋内解体が予定より早く完了した為、２階外壁解体を足場が無い状況で着手し、剥がした外壁モルタルと共に、１階屋根から転落した。
- 樋補修の手直し工事の為、梯子を掛けて下屋根部分で作業中に足を滑らせ下部に駐車していた自動車の屋根に落ち、はずみで地面へ墜落した。
- 解体業者が瓦の撤去作業中に足を踏み外して地上に落下。

- ユニットバス組立て施工中、左足が滑り 1 階床へ墜落。
- 足場が固定されていない状態で上に乗り、躯体と作業床の間から転落。
- 道板から足を踏み外し、1Ｆ床パネルに落下し、背中を強打。
- 屋根シェードの組立て中に作業床から基礎立ち上がり部に墜落。
- 足場板上で作業中に足場板と共に転落。
- 4 尺脚立を設置し、上がる際に脚立の安定が悪くバランスを崩し転落。
- 荷台から降りる際、体勢を崩して踏み外し玄関ポーチ部分へ転落。
- 2 階から 1 階へ梯子で降りる際、足をすべらせ左かかとから落下。
- 吹き抜け部の壁ボード施工中、めまいを起こし脚立から転倒し、右二の腕骨折。
- 勾配天井施工中、足を踏み外し約 2m落下し右肩打撲。肩が上がらない。
- 妻側の矢切ボード施工中に、造作してあった養生板より足を外へ踏み外し転落。
- 梯子を上がろうとした際、伸縮梯子のロックが外れそのまま前に転倒。
- 上棟中、足場代わりにしていた母屋のはねだし部に乗ってしまい、1 階床に転落し臀部を強打。
- はしごを降りる時、伸縮はしごが縮んでしまい、後ろ向きに落下。
- 梯子を上っているときに、足を踏み外し腰から落下。
- 下野施工中、梁の間にかけていた間柱が折れてしまい、2 階床合板へ落下。
- 大屋根本葺中、片流れの屋根の吹き抜け部から 2 階のバルコニーへ落下。
- 仮設階段から 2 階へ移る際、仮設階段と床の隙間が広かったため、誤って下へ落ちてしまった。
- 敷延をショベルカーで鋤取り作業中、近くにいた作業員の腰に旋回したショベルカーのバケットが接触した。
- 階段室の天井クロスを貼っていたところ、誤って脚立から階段へ落ちた。
- 小屋裏収納の折りたたみ式の梯子を取り付けた後、その梯子を登ろうとしたところ、金物を取付け忘れたため梯子が折れ、床に落ち腰を打った。
- 2 階階段室の仮床の受け材を設置していたところ、小屋組み作業中の小屋梁が接近してきた事に慌ててしまい、誤って 1 階に落ちてしまった。
- バルコニーでシャッターを取り付けている際、3 尺の脚立を二つ並べて片足ずつ乗せて作業をしていたところ、片方の脚立がずれて転倒した。その時に、背中を強打し肋骨を骨折した。
- 3 尺脚立の 2 段目に乗って下地材を入隅に施工中、釘打ち機の反動でバランスを崩した為、後方へ飛び降りたところ、床に置いていた材料を踏んでしまい左足を痛めた。
- 2 階建て物件で建方作業中、梁上で作業をしていた際、誤って足を滑らせ、

2 階床へ落ちた。親綱設置、安全帯着用していたが、態勢を変える際にフックを外してしまった。

- 立ち上がりコンクリート打設の準備のため、ポンプ車の荷台で作業をしていた際、バランスを崩し道路に落ちた。
- 5 尺脚立の上から 2 段目の踏板に乗って、玄関周りのタッチアップ処理をしていたところ、バランスを崩し脚立と一緒に地面に落ちた。
- ビルトインガレージの軒天取り合い部分にノボパンを貼ろうとしたところ、足場にしていた間柱が節から折れてしまい、ガレージ土間に落ちた。
- 玄関ポーチの廻り階段で脚立を使用して作業中、脚立がズレてしまったためバランスを崩し、そのまま地面に転落した。
- 二連梯子を 2 階の高さまで伸ばして作業をしていたところ、バランスを崩し地面に落ちた。
- 2 階の階段室の石膏ボードを仮床の上で貼ろうとしたところ、仮床の受け材を留めていたビスが折れて 1 階に落ちた。
- 建て方作業中、小屋梁の上を歩いたところ足を踏み外し、安全帯を使用していなかったため 2 階床に墜落し、腰を床に打ち付けた。
- 浴室の壁ボードを施工している際バランスを崩して、脚立の天端から転落し、腰と肘を床に強打した。
- 梁に木材を掛けて下屋下地取付け中に木材が折れて墜落、骨折。
- 上棟中、未固定の母屋に足をかけてしまい、転落。
- 階段室でサッシを荷揚げする際にバランスを崩し転落。
- 上棟時、2 階床施工にて階段開口部から転落。
- 上棟時、横架材を受け渡す際に脚立から転落。
- 内部足場で材料を持ちながら昇降し転落。
- 電気配線時、脚立の設置不良により脚立から転落。
- 階段室にて荷揚げ中、固定不良により下の階へ転落。
- 金物取付中、脚立にて無理な体勢をしたところ地面に着地した際に肉離れ。
- ベランダ笠木取付中、フラットルーフから転落。
- 外部 PB 施工中に足場から転落。
- クロス施工中、脚立から降りた際に転倒、肩負傷。
- ケーブルを担ぎ階段開口部を梯子で昇降していた際に、バランスを崩し転落。
- 大工が脚立作業から降りる際、左足を滑らせ足が梯子間に入ったまま転落した。
- 仮設階段の固定が外れ落下。
- 外装作業中に足場床から足を踏み外し転落。
- 外装作業中に足場床が外れ墜落。

- クロス作業中に脚立から足を踏み外し転落。
- 内部クリーニング時に梯子がずれて墜転落した。
- 手で材料を持ちながら丸ノコを使用し、足太ももを裂傷した。
- 梯子を上ろうとして足を滑らせて墜転落した。
- 階段の開口部に自分で作った足場の上に乗って墜転落した。
- 脚立から転倒した。
- 上棟作業中、梁を移動中に足場に引っ掛かり墜転落した。
- 屋根塗装作業中に足を踏み外し、およそ 80 ㎝下の足場歩み板に落下。
- 2F の梁を足場板上で解体中、足場板がすべり 2F 床に転落。落下した足場板に衝突。
- 1F の梁から足を踏み外して転落。
- 足場を踏み外して肋骨骨折。
- 上棟作業中に桁から転落(1 階桁約 3M の高さから)。
- 建物と足場の空きがあり、足を屋根で滑らせ墜転落した。
- 外部足場にて足場代わりの木材を使用し木材が破損し転落。
- 建て方作業時、天井火打ち材より 2 階床へ転落。
- 2 階桁上から部材を下ろす作業中に、勾配部ですべり一階桁上に落下。ふともも打撲。
- 躯体から移動した際に足場上に置いてた部材にあがり、足首をひねった。足首捻挫。
- 材料荷上げ時にハシゴから落ちた。
- 仮設階段から落ちた。
- 荷下ろし作業中、右手親指にとげが刺さる。
- 脚立から転落し右腓骨骨折。
- 脚立より転倒し右手骨折。
- 2 階仮設足場からバルコニーに転落。
- 玄関ポーチ天井下地造作中、脚立から足を滑らし転倒。
- 事前の現場確認時に脚立でバルコニー手摺を乗り越えようとした時に脚立から転倒。
- 窓枠取付作業中に足を踏み外し転落。
- 作業床と脚立に足を掛けて作業を行なった際、脚立が滑り転落し、膝を強打、半月板を捐傷した。
- 玄関ドア枠を取付ける際、バランスを崩して 3 尺脚立から転落し、右足首を骨折した。
- 玄関吹き抜け上部の構造金物を取り付ける為、脚立から養生手摺りに足をかけ作業を行っていた所、養生手摺りが外れて 1F 床まで落下した。怪我無し。

- 間柱設置中に下屋地束につまずき、外部足場側に墜落した。軽作業が出来ていたが、回復が遅いため受診をして肋骨の骨折が判明した。
- 玄関サッシ前の作業床を復旧せず下屋組みをしていたところ、足場にしていた横さんから墜落し、左足首を骨折した。
- クロス工パテ研磨作業中に内部足場布材と脚立に足をかけて作業（高さ1.5m）し、足を滑らせ１階床に転落。左足立法骨折。
- トップライトの木下地作業をしていたところ、バランスを崩して脚立から墜落し、脳震盪を起こした。
- 上棟工事中２階床の開口部より１階床へ転落。（左手上腕付近の骨折）
- 軒天作業の為に脚立に足を掛けたが脚立が動き、転倒した。（かかと骨折）
- 玄関ドア取付時に脚立３段目から足を踏み外し落下、脊髄の切迫骨折。
- 外壁石貼中に、簡易養生材で足を滑らせ１階屋根から転落。
- 開口部に置いた木材に体重で亀裂が入り破損、１階小屋から転落。
- 吹抜部の仮床解体の際に乗っていた合板が傾きバランスを崩し転落。
- 基礎型枠作業中、型枠上の足場板を使用して移動中、落下し足を強打した。

災害分類＜切れ・こすれ＞の発生状況

- 垂木を丸鋸で切断中、刃が惰性で回転している時に手を入れ切傷。
- 太陽光パネル設置作業でＰＦＤ管を切断中にカッターで左足を切傷。
- 床板をグラインダーで切断中、手袋が巻き込まれ手を骨折。
- 木枠切断時、丸鋸がキックバックし親指裂傷。
- 丸ノコに噛んだ幕板を外す際に誤ってスイッチを入れ、指を裂傷した。
- 敷き鉄板を連結する為の溶接の当て板を加工していたが、当て板が２枚重ねとなっており、一枚が跳ね上がり、眉と瞼の間に当たり裂傷。
- 給排水先行配管工事中、排水塩ビ配管の配管小口のバリ取り作業を行っていて、カッターナイフが滑り、左手人差し指を裂傷。
- 脚立にて軽天採寸時、バランスを崩して態勢を立て直した際に、右手甲側を内壁ランナー(コの字)下部に打ち付けて切傷。
- ２階階段室の踊り場で、Ｌジョイナーを床に仮置きした際に、親指と人差し指の間を裂傷。
- スタッド材の荷揚げ作業中、後方（下方）を支えていた被災者が重さに耐え切れずに手を緩め、小口で右腕を挫創。
- モルタルミキサー稼働中、モルタル取り出し口付近で詰まりがあり、取り出し口に左手を入れたところ、稼働中のブレードに左手中指が接触し挫創。
- 門袖のタイル貼り前の床養生作業中、床の養生材をカッターで切断しようと

したところ、誤って養生材をつかんでいた左手甲をカッターで刺傷。

- エアコンの埋め込みコンセントボックスを取り付け中、下地ベニヤを切断の為、電動丸ノコを使用したが、野縁にあたった振動で左手中指にあたり切創。
- Ｌ型鉄板（内装材）をトラック荷台からの荷下ろし作業中、Ｌ型鉄板が滑って右肘部付近に接触し切創。
- 排水管用貫通穴あけ作業中、左手で断熱材付き床パネルを持ち、右手で電気ドリルをもって作業をおこなっていたが、回転を抑えきれず、受傷。
- 遮音配慮間仕切壁の断熱材施工中、エアコン配管部が干渉する為断熱材をカッターで加工した際、めまいを生じカッターで右角膜を裂傷。
- 積み上げたボード上に回収ＢＯＸ、歩み板を乗せて天井ボード下張り作業中、回収ＢＯＸが倒れ、落下。手甲が天井ボードのＴジョイナーに当たり右手甲を裂傷。
- 丸鋸でフロアカット中、墨に会うよう微調整している際に手が滑り、左手くすり指が刃先に巻き込まれ切創。
- 擁壁の型枠足場解体工事中、借地している隣地の既設擁壁上を移動し、天端から出ていた鉄筋棒を踏み抜いて、右足裏を裂傷。
- 柱に耐火材を釘打固定作業中、押さえていた左手親指が滑り、釘打ち機の先端部分に接触して、釘が発射され左手親指を負傷。
- 大引き施工中、大工職方が大引きの材料を持って振り向いた際、近くにいた別の大工職方に当たり耳を切創。
- 床下地のパーチクルボードの出の調整で丸鋸にてカットした際に、キックバックし、左手が引き寄せられ小指を切創。
- 荷受けの為、2 階階段室の開口部養生を解体作業中、腰を上げた際に隣接していた内部足場の根絡み部に接触し、体勢を崩し開口部内に倒れこみ、右腕を階段仮床用の根太受金物に接触し裂傷。
- 側溝型枠組立て時、利き手でない方で釘打ち機を使用し、先端がコンパネ上で滑り、左手親指に誤射。
- 鼻隠し鉄板の精度調整具合を確認中、片側未固定の鼻隠し鉄板がずれ、振り子のように落下し、右手甲に接触して裂傷。
- 石材をグラインダー排水桝の形に合わせて切断加工中、グラインダーが跳ね、左手親指と人差し指の間を切創。
- 左手に持った空カートリッジにカッターで切り込みを入れた際、カッターが滑り、勢いよく左手親指付け根の腱を断裂。
- 柱に耐火材を取り付け中、左足に釘打ち機の先端が当たり誤射。
- 棟木切断作業中、左足が滑り体制を崩したところ、左手小指と丸鋸が接触し裂傷。

- 引込柱の建込調整用の木クサビを丸鋸にて加工している時に、丸のこが反発して、左中指第二間接下を切創した。
- 住宅現場で足場下からキャノピー本体を引き上げようとした際に、材料を落としそうになり、咄嗟に掴んだ時に鋭利な部分で左手親指を切創した。
- 棚受け桟を加工していた時、カッターナイフの刃が滑り、桟木を持っていた左手親指の付け根に刃が刺さり、親指の腱を切った。
- 共同住宅の階段で 2 人で間仕切りスタットの荷揚げ作業中、両端を持ち上げる際の 2 人の合図にずれが生じ、スタット材の角に右足がぶつかり切創した。
- 卓上式丸ノコ使用時に切断寸法が記載されたメモを気にしたまま、卓上丸ノコを稼働させ桟木を切断したところ、桟木を押さえていた左手人差し指を切創した。
- 柱状改良杭施工中、作業台から前向きに降りた際に左膝にフレコンカッターの刃先が接触し、左膝の外側を約 20 ㎝切創した。
- 住宅建設現場にて卓上丸ノコがキックバックし、左手親指の先端部分を裂傷した。
- 玄関タイル貼りで、モルタルミキサーの排出口下部に残ったモルタルを手で落そうとしたが、誤って排出口から左手親指を内部に入れてしまい、動いてるプロペラと排出口に挟まれ、左手親指を裂傷した。
- 社内検査にてヘルメットを着用して小屋裏に上がり、配線落し口を確認するためヘルメットを外し、その後再度着用しようとし、頭を上げた瞬間、上部受け材に頭があたり裂傷。
- 雨漏れ補修工事で外壁塗装の養生作業中、足場ブラケットに掛かっていた S 字フック先端が左瞼に引っかかり裂傷した。
- 建方工事中、外壁合板の釘打ち作業の際、防塵カバーが開き釘が飛び出して眼球に直撃した。
- 丸ノコを使って石膏ボードをカットする際、丸ノコが跳ね返り左手側面を裂傷した。
- 2 階床パネル作業中、フロアトラスのネイルプレートに接触し、挫創した。
- 卓上丸ノコを使用して廻縁を切断中、右腕袖口が巻き込まれ右手首を裂傷した。
- 作業台上で階段材を丸ノコで切断中、反発し、材端部を押さえていた左手に当り、中指先端を切断した。
- 養生板の加工作業中にカッターナイフで手の指を切ってしまった。
- 電気配線工事中に電動ドリルのバッテリー部分が顔にあたり、切り傷を負った。

- 押切を使って楔を作成中、材料に刃が噛んで左手の甲に裂傷を負った。
- 外装補修工事中に外装ボードを丸ノコでカットするため定規を調整しようとして、誤って丸ノコを作動させてしまい、小指と中指の先を切断した。
- 胴回り合板を固定中、材料がズレ動き指先を損傷した。
- 建方工事中、釘打ち機にて左足人差し指に誤射してしまい、裂傷する。
- 下地材を電動丸ノコで切断中、下地材の固定不足により右手甲に丸ノコの刃が当たり裂傷した。
- 2 階壁組建て方中、釘が跳ね返り左足小指を怪我した。
- カッターの刃を折った際目に刺さった。
- 釘打作業中、釘連結のワイヤーが目に刺さった。
- 壁に下地材をフィニッシュネイルにて仮止め作業中、釘が節に当たり跳ね返った釘が右目瞼に刺さった。
- ユニットバス交換工事に於いて、入口下枠を左手で保持してカッターで切断作業中に、勢い余って人差し指に切創を負った。
- 内窓枠の取付をしゃがんだ姿勢で作業後、立ち上がった際にズボンの横のポケットに入れていたハサミが貫通してインパクトドライバーを持っていた右腕に刺さった。
- フローリング材を加工した際、丸ノコがキックバックし、指を裂傷した。
- エアコンのドレインホースを切ろうとした際、人差し指を切った。
- カッターでビスの袋を開けた際、勢い余り太腿を切った。
- フローリングを貼る際、丸ノコで指を切った。
- 足場からベランダに降りようとした際、足を防水パンのジョイント部分で捻った。
- 鉄筋で手を裂傷した。
- 丸ノコで親指を裂傷した。
- 丸ノコで指を裂傷した。
- モルタルミキサー清掃中、スライド蓋を閉める際に左手中指を裂傷。
- グラインダーの刃が接触し、キックバックを起こして左手親指付け根を裂傷。
- 丸ノコで切断中、丸ノコを押し込んだところ、勢いよく丸ノコが進み左手首を裂傷。
- 天井クロス貼り時にカッターで切り込み中、左手親指付け根を切創。
- インパクトドラバーのビットのビスが外れ、左手人差し指の第一関節に刺さり出血。
- 間柱を押切でカットするとき、天秤になって手のひらを押切の刃にあててしまい裂傷。
- ノボパン加工中、丸ノコが跳ね返って裂傷。

- 釘打ち機でノボパン施工中、木くずが目に入るが、その時は大したことが無く放置し、そのくずが目に残っており、時間がたってからカビが発生し、病院へ行くことになった。
- 釘打ち機が詰まり、自分の方へ向けて玄翁でたたいたところ釘が誤射し眼の側面を貫通。
- 釘打ち機で胴縁施工中、誤って手の指を打ってしまい手を貫通。
- 押切で框材をカット中、途中で引っ掛かり誤って刃が左手人差し指・中指・薬指に接触。
- パイプ打ち込み中、ヤットコが跳ね返り腕が巻き込まれ指を骨折。
- 間柱を丸ノコで縦に割いているとき、キックバックして左手親指を切断。
- 立ち上げた壁のスタッド材を斜めに切ろうとしたところ、丸ノコが材から外れ、添えていた左手人差し指の第一関節から先を切断した。
- 建て方作業中、建て方業者の職人が床の釘留めをしていた際、前を横切った被災者の左足を釘打ち機で誤射した。
- 建方作業中、被災者が梁を移動していた際、後方にいた荷揚げ作業員が持ちあげた梁と被災者の持っていた梁との間に親指を挟んだ。
- 雲筋交いを釘打ち機で打とうとしたところ、コードが圧縮材に引っかかり力を入れたところ発射口が膝に当たった為、右膝の横を釘で撃ってしまった。
- 石膏ボードをカットしていたところ、集塵丸ノコがキックバックし添えていた左手小指に接触した。
- ルーフバルコニーの金属防水を施工中、取り付けようとしたＬ型板金を踏んでしまい、跳ね上がった板金で右足首付近を切ってしまった。
- サッシ開口部を丸ノコを使ってカットしていたところ、丸ノコがキックバックしたため、窓台を押さえていた右手を切った。
- 建方作業時、釘打ち機を使って転び留めを施工中、部材の節に当たった釘が室内側に飛び、作業をしていた被災者の太腿に刺さった。
- タイベックシートを施工中、水切りシートを下から上にカッターで切り込む際、添えていた左手親指をカッターで切ってしまった。
- 下地取り付け中に手に釘を誤射。
- 耐力面材を丸ノコで切断中、誤って手を裂傷。
- 上棟中、柱を丸ノコで切断しようとしたところ、キックバックし指を裂傷。
- 軒天施工時にカッターで手を切った。
- 桝天端調整中にグラインダーがキックバックし、腕を裂傷。
- 床版を釘打ち施工中、邪魔になったエアホースを足で払い、右足首に釘打ち誤射した。
- 手で材料を持ち丸ノコを使用した際、丸ノコが跳ね返り足太ももを裂傷した。

- 材料をグラインダーで切ったところ、跳ね返り裂傷した。
- 保護メガネをせずに釘打ち機を使用し、目にワイヤーが刺さった。
- 土台をカットスクリューで締めつけ作業していた際、ドリルの先端にゴム手袋がふれ、巻き込まれた。
- 材料を削っている時に人差し指切傷。
- 電動ドリルが逆回転し右手薬指骨折。
- 左手人差し指と中指を丸ノコで切った。
- プレカット工場昇降盤で間柱を割く作業中、材料を押していた手が誤って刃物の所まで伸びてしまい左手中指が刃物に接触した。
- 建て方中、1 階床で材料を配る時、取り外していた仮筋交いの釘を踏み足裏に刺さった。
- 防水シートを施工している際、防水紙を切ろうとした時手が滑って左手中指を切ってしまった。
- 板金材料を持とうした際に、切断されている小口で左手親指付け根を裂傷。
- 釘打ち機で誤って左手親指を釘貫通。
- 足を滑らせ、基礎ベース鉄筋に足首上部をこすり皮膚が削ぎめくれた。
- 木材加工中、丸ノコが跳ね返り刃が指に接触した。
- 小屋裏床板施工時に釘打ち機の誤射により、右足親指と人差し指の骨の間を貫通し損傷。
- 間柱を丸ノコで加工していた際、キックバックで左腕を裂傷し、8 針縫合した。
- 上棟作業中に、釘打ち機で左手薬指へ誤射した。
- 2 階床板へ釘打ち作業中、トリガーを引いたまま移動し、ふくらはぎへ釘打ち機が接触し誤射した。右足刺創。
- 上棟時、荒床から UB 基礎天端へ右足で着地した際、PC 養生ビニールに隠れた排水管固定金具ボルトが、右足の裏に 4cm 程刺さり、骨折した。
- 床合板補足材(24mm) 2 枚を丸ノコで切断してる時に、2 枚目で丸ノコがキックバックし、左手親指の先端を 6 針縫う切創をした。
- コンクリートブロックのカット中、グラインダーがキックバックし、自身の右足脛を切った。10 針縫う怪我を負った。
- 柱に立てかけていた入隅金物へ脚立から降りる際にもたれてしまい、右手首を 7 針縫う裂傷を負った。
- ノボパンを釘打ち機で釘留めしていたところ、添え手の左手薬指を打ち、開放骨折をした。
- 卓上スライド丸ノコで建材を切断していたところ、建材を押さえている左手が滑り、丸ノコで左手の甲を切創した。

- 外壁合板の釘打ち施工中に手の甲に釘を打ってしまった。（釘の貫通）
- UB 梱包木材を丸鋸で切断中に誤って左手指を切ってしまった。

災害分類＜車両系建設機械＞の発生状況

- ユニット据付時に、ユニット間に右手親指を挟まれ裂傷。
- 重機の荷下ろし時の落下衝撃で、運転者が前方に口元をぶつけ切傷。
- 鉄製矢板を重機で動かした際、前方の作業者の左手がコンテナと挟まる。
- 解体工事時、重機を後方へ移動中、作業者に接触し右足を骨折させた。
- 鉄板敷き直し作業中、吊りフックを掛けようとバールで浮かした鉄板が横滑りし、フックと鉄板穴に指を挟んで挫創。
- 地切りした吊荷が傾いたので、オペレーターが危険と判断して、玉掛者の合図無しで吊荷を下げたため、他の資材に接触しないよう吊り荷に添えていた玉掛者の左手親指が、吊り荷と台木に挟まれた。
- 敷鉄板の撤去作業中、地面と鉄板の間に右足が挟まれ受傷。
- 重機のレバーをつかんだ指とワイヤーが挟まり、右手薬指の爪から先を切断。
- クレーンで釣り上げた材料が落下し、右手に接触。
- 転圧機を重機で荷揚げする際、地盤面に下げたバケットに足が挟まれ負傷。

災害分類＜激突＞の発生状況

- 外部建具取付中、１階土間を移動している際よろけて資材に当り、その反動で足場建地にぶつかる。
- 軒天工事、腰袋のビスを取る際に、左肘を足場に強打し挫傷した。
- コンクリート打設工事中、基礎型枠の通りを調整している桟木に、手をかけて降りようとし、桟木が外れて鼻の下を挫創。
- 給水管敷設及び量水器設置工事時の掘削床内で砕石充填、締固め中、掘削床内でしゃがんでいて立ち上がった際に、頭を重機のバケットに激突。
- H600 の型枠を左足から跨いで移動する際、左足が上がりきらず型枠の上部に左膝を強打。
- トラックのあおり止め金具が、約 1.5mの高さで通路上に出ており右眼に接触。
- 仮設部材（カラーコーン）を積載している荷台に片足を掛けながら積み荷の荷下ろしをしている時、トラックに掛けていた足が滑り、胸部をトラックのあおりに激突した
- 集合住宅の現場で外壁パネル建て込み時、コンクリート基礎上で無理な作業

姿勢で作業し、土間上に下りる時にガス立上配管の上に激突し骨折した

- 住宅現場の玄関において、6 尺脚立で間仕切り下地作業中に作業態勢を変えた際バランスを崩し、脚立より自ら飛び降り右足を強打した
- 立馬を使用して、天井下地パネル取付作業中に、落下しそうな天井パネルを支えようとした瞬間に、バランスを崩して咄嗟に立馬から飛び降り着地した衝撃で、右足踵を被災した。
- 据付屋根パネル作業時、小梁上歩行中バランスを崩し左肩強打。
- 石膏ボード搬入中にヌカラーズに足を取られ作業員の足の甲にぶつけてしまった。
- 桁上作業中、小梁を施工する際、足を滑らせ木材で肋骨をぶつけた。
- 室内を出てトイレへ向かう際、開いていた窓枠に頭をぶつけた。
- 建方作業中、屋根上で受け取った野地板を持ち上げたところ、足場の火打ちに後頭部をぶつけ、そのままの勢いで持っていた野地板に顔面をぶつけた。
- 建方作業中、3 階床で釘打ちをしていたところ、近くで荷揚げ業者が運んでいた柱が右足に当たり負傷した。
- 材料移動中につまずき、足場におでこをぶつけた。
- 床下収納庫の開口部に仮蓋を固定し忘れ、上を歩いた反勤で仮蓋が跳ね上がり内股を強打した。
- 足場が外れて足場手すりに激突した。

災害分類＜激突され＞の発生状況

- 解体工事、鉄骨柱を倒した際に、他作業者の足に当たり骨折。
- 内部足場から手摺部材が落下し、下の作業者に当たり頚椎を捻挫した。
- 屋根パネル組立中、パネルが落下し受傷。
- 建方作業中、床に置いたパネルを移動しようとしたところ、パネルが倒れ、隣で作業中の被災者にあたり、肋骨を骨折。

災害分類＜飛来落下＞の発生状況

- 撤去した屋根材を荷下ろし中、屋根材が落下し右足に激突。
- 石膏ボードをクレーンで搬入中、荷が壁パネルに接触して落下し、荷の下にいた誘導者に当たる（壁パネルを超える時誘導者は移動中で誘導なし）。
- 組立中、屋根パネルをクレーンで移動している時、風で煽られパネルが落ち、当たる。
- 梁をクランプで挟み設置位置へ移動中、クランプ解除紐が梁受補強合板に挟

まりクランプが外れて梁が落下し、作業者に当たる。

- 束になったスタッド材１束を２階に荷揚中、２階の大工が束ねているＰＰバンドに指をかけ揚げ切ろうとした際、指のかかりがすべり、材料が束ごと落下。
- 鉄骨開口フレーム足元ボルト固定作業中、R 階梁上に仮置きしていた長さ約１メートルのブレースが鉄骨組立、ボルト締め等の振動で落下し、作業員の頭部に激突。
- 万能板をトラックへ積み込み作業中、足場部材上に寝かせて積み上げていた万能板に接触し、崩れて落下、下にいた作業員が被災。
- RC 擁壁の型枠解体中、サポートの鋼管を固定している金具を外した際に、落下させてしまい右膝を打撲。
- 釘打ち機で内壁パネル桟同士を固定している時に、釘打ち機が桟に残った打ち損じした釘から外れなくなり、無理に釘打ち機を引き抜こうしたところ、釘が誤発射され跳ね返った釘により右目を被災した。
- 現場で、木工事が完了し、卓上丸ノコを車に積み込むため卓上丸ノコ集塵袋付け根を持ってもちあげたとき、集塵袋が外れ卓上丸ノコが落下して、左足小指を負傷した。
- 集合住宅現場で、シューズボックスの組立作業中に固定していない棚板が落下して右手の小指と薬指に当たり被災した。
- 外壁側に持ち出しを作り破風材を移動していたが、持ち出しの固定が甘く破風材が右足に落下した。
- 解体した廃材のパーチクルボードを運搬中、誤って足に落とした。
- フローリング貼替工事の剥がし作業中に、木片が飛び左目付近に当たった。
- 足場解体作業に於ける部材の手渡し作業中、滑り止め付手袋を使用していたが誤って手が滑り、地面の受取側作業員の鼻に部材が直撃し裂傷を負った。
- 玄関土間にて住設を搬入している際、梱包の底が抜け、足に落ちた。
- 釘止めした釘頭に２本目の釘を打った際、跳ね返り、足の甲に刺さった。
- 建方中の建築現場１階にて、ホウキで現場内を清掃している際、目に小さな木片が入った。
- 腕木に載せてあった石膏ボードが崩れ落ち、膝の上に落ちた。
- ルーフィングの荷揚げと敷き込み作業中に落下し、背中に激突。
- 砕石をトラックから降ろしていた際に、荷台のあおりが左足甲に落下し骨折。
- 足場部材を搬入中に、手を滑らせて右手薬指に落下させてしまった。
- 上棟作業中、弊社社員が作業中の業者の真下にて作業をしており、そこへ梁が落下して直撃。
- 建方作業中、2 床梁(360×約 3850)をトラックから現場内に運んでいたとこ

ろ、持ち替えた際に手を滑らせて梁を足に落としてしまった。

- 建て方作業中、小屋梁（105×3640）を架ける際に、梁を持っていた大工がかけやを取ろうと片手を梁から離したところ梁が落下し、柱のほぞ合わせをしていた被災者の肩に当たった。
- ノボパン施工中、カットしたノボパンを施工箇所へ運ぶ為に持ち上げたところ、手を滑らせ自身の左足の上に落としてしまった。
- 建方中、梁が小口から外れてしまい、梁を支えていた人の太腿に当たり損傷。
- 材料を落し、材料と足場で指を挟む。
- 上で作業していた左官業者が左官コテを落し、被災者が打撲した。
- メッシュシートを撤去していた足場工が作業床上においたブラケットを誤って蹴り落とし、産廃回収している作業員のふくろはぎに当たり打撲した。
- 足場組立中、上層の作業者へ材を渡した際、材が落下し顔面に当たり負傷。

災害分類＜転倒＞の発生状況

- 給排水配管工事の進捗確認視察中、基礎天端に乗った時、足を滑らせ頭を打った。
- 基礎工事の整地中、基礎を跨いだ際、アンカーボルトに足が引っ掛かり転んだ。
- 改装工事、屋内階段を上がる際に、足を滑らせ転倒し鎖骨を骨折した。
- 玄関前仮設ステップに足を乗せた時、ステップが転び脛に当たり打撲した。
- トイレに向かう際、足を滑らせて転倒し、腕を強打。
- 2 階床 ALC を敷き込み作業中、和室の段差に気付かず踏み外しバランスを崩してしまい、ALC 敷き込み前の開口部に体が落ちるように転倒。
- 下階に材料を取りに行く際、吹き抜け部内部足場の根がらみにつまずき転倒し、手をつき左小指骨折。
- 内装工事荷受け中、大工職が砂利敷傾斜路を歩行した際足を滑らせて転倒し、近くのＣＢブロック角に左脇腹を強打。
- 重機オペレーターが、キャタピラ上部より前方排土板上端部に、足を掛けて地面に降りようとした際に、足が滑って転倒し背中右側面部を排土板にぶつけた。
- 解体した足場材を一人で担いで運搬中、台木につまずき転倒した際に左手を地面につき、人差し指と中指の付け根を骨折。
- 建物内を移動中、床段差につまずき転倒。
- 仮設トイレのステップで滑り、トイレ囲いとステップの間に右足首を挟み負傷。

- 玄関エントランス出口で、設備工がエントランス出口の段差（10 ㎝）に足を捻り転倒した。（帰社後痛みが発生した為病院へ受診した。）
- メーター装置の作業の為、基礎掘削した法面を道具と材料を両手に持って移動したため足を滑らせ転倒し、左足首をひねり、くるぶしを骨折した。
- 室内に仮置きした石膏ボードを間配ろうとして、一枚持って、室内側から共用部に出ようとした際、施工途中のベニヤにつまずき転倒し、メース（押出成形セメント板）の角に膝を強打し、右膝を裂傷した。
- 集合住宅現場で足場材を間配り中にブレス材を 5 本担ぎ、基礎立上りをまたいだ際に凍結箇所を歩いてしまい、足を滑らせ転倒し右腰部を強打した。
- 集合住宅現場の敷地内の外部安全通路を後ろ向きで運搬していた被災者が、排水桝の立上りにつまずき転倒した。
- 2 名で ALC 板を運搬中にバランスを崩し転倒して、2 階床梁の上フランジ角部に右額部をぶつけた。
- 部材搬入時に養生していた毛布を踏んで転倒。足に痛みを感じ、すぐに作業を中断。被災者は大事を取って帰宅した。様子を見たが夕方痛みが引かず病院で診察。
- 建方後の４Ｓ完了後、階段を降りた際に１F 床開口に足を踏み入れ転倒。
- 室内仮設階段昇降中、足を踏み外し転落受傷。
- 建物周辺を歩行中、ぬかるみで足を滑らせ転倒。
- ユニット上歩行時、スマートエアーズ（全館空調機）の架台につまずき転倒。
- 据付作業の準備中、防湿コンクリート段差部にて転倒し受傷。
- 移動時ブロックを跨ごうとして転倒。
- 脚立とパテ板を両手に持って移動中、床養生につまずき転倒した。
- ガラス取付作業後、基礎の天端から土間へ降りる際に左足を捻り捻挫。
- 建方作業中、養生用ブルーシートに引っ掛かり、バランスを崩し、かかとを土間コンクリートに強打し、かかとを骨折した。
- 足場材運搬中にぬかるみでめくれた床シートに足をとられ滑った。運んでいた足場材が足の指に当り、小指を骨折した。
- シャッター部材を搬入中、出入口段差部にかけ渡した足場板を踏み外し、左手をついて、手首を骨折した。
- 基礎外枠作業中に転倒、頭を打撲。
- 工事車両の駐車誘導作業中、縁石養生用のマットが車輪の回転によりずれて、マットに載っていた作業員が足元をすくわれ転倒した。
- 2 階天井根太の敷設作業中に、仮置きのため固定していない根太のオーバーハング部分に乗ってしまい根太が傾き転倒した。
- 屋根板金工事が完了し、屋根から降りるとき足を滑らせ右膝ひねる。

- 休憩の際、椅子の足の未固定に気づかず転倒し、肋骨を骨折した。
- 室内昇降階段の 1 段目を踏み外して転倒し、手をついた際に基礎出隅部および基礎パッキンに接触して手のひらを裂傷。
- 作業開始時、作業台上のヘルメットを取りに行く際に、床立上りの排水管につまずき、作業台角に頭部を打付け裂傷を負う。
- 瓦の葺替え工事において、剥がした瓦を持って屋根上を移動中、既存瓦に乗った際に転倒し左ひざを瓦の角に打付けて裂傷を負う。乗った瓦は、隅棟脇のカットした瓦で、瓦桟に固定されておらず、自由に動く状態であった。
- 土台材料を肩に担ぎ移動していた際、足元が凍っていた為、転倒した。
- 石膏ボードの上に足を掛けた際、足が滑り転倒した。
- 作業床を受け取った際、バランスを崩し転倒した。
- ガードボード下のへこみで左足をひねり、甲を骨折。
- 外部足場階段の作業床に上がる際、階段下部がズレ、床パネルへ転倒。
- 小屋梁組立作業中に 2 階床パネル上に材配してある梁につまずき足を捻る。
- 道具を車両に積込中、排水桝上に足を載せた際に足首を捻ってしまった。
- 建て方中に大断面柱が外れて倒れ、避けようとして基礎に背中を強打。
- 土台敷きの際、基礎をまたぐときにバランスを崩してアンカーボルトとお腹が干渉し裂傷。
- 土台施工中、資材搬入を手伝った際に基礎に足が引っ掛かり転倒。
- 木工事中、玄関付近に置いてあったガラ袋を踏んでしまい、足を滑らせ右足を骨折した。
- 根がらみに足を掛けたところ滑り、足を地面に強くつき転倒、アキレス腱断裂。
- 現場歩行中、後方にあった一輪車にぶつかりながら転倒。
- 油圧ショベルをトラックに搬出中、バランスを崩し転倒。
- 帰り支度中、玄関でバランスを崩し転倒、指骨折。
- 足場材を運んでいる際に、足場にあった材料につまずき転倒。
- 高低差のある玄関ポーチにて使用していた簡易ステップが崩れて転倒。
- 転倒し、太ももに鉄筋が刺さった。
- 歩いて移動中に転倒し、頭を道路に打ち骨折。
- 足元を確認せずに玄関階段を上り転倒した。
- 足場を移動中、足場の隙間につまずき転倒した。
- 脚立から下りようとしたところ、容器に足を掛け転倒した。
- UB 施工時、脚立から降りる際、足をひねって後方に転倒。
- タイル切断中、紐靴が切断機に絡まって転倒。
- 仮設電柱を運んでいる時、足元の石につまずき転倒。

- 移動中、足場にあった材料につまずき転倒した。
- 移動中足を挫いた。
- 敷地調査中に柵に引っ掛かり転倒。その際ひざから落ちて負傷した。
- 脚立から降りる際、一段目よりバランスを崩して仰向けに転落。
- 建築予定地の現地調査中に左足を滑らせ転倒し、関節脱臼骨折した。
- 材料を搬入する際、基礎天端から足を滑らせて転倒し、頭部側面を基礎の角にぶつけた。裂傷部を縫合した。
- 吹き抜けの安全ネット上に載った産廃を 1 階から振り落とそうとしたところ、肩から転倒して鎖骨を骨折した。
- 道具片づけの際、玄関土間段差を踏み外して転倒し、右手の甲を柱に強打した。右手薬指・小指の脱臼骨折。
- 仮設階段昇降中、仮設階段未固定の為仮設階段が滑り転倒し両足を負傷。右足首にヒビが入った。
- 荷台から型枠を降ろす際、足を滑らせ転落。地面に左膝を強く打ち、骨折した。
- 足場の段差につまずき、胸を強打した。（ あばら骨、他の骨折）
- 防蟻処理中に基礎を跨いで移動する際、基礎鉄筋に足をとられ転倒。
- 建て方工事中、1 階床から玄関土間に移動した際、材に足を取られ転倒。

災害分類＜熱中症＞の発生状況

- 基礎型枠組作業後、大量の発汗、手足がつり始めた為、救急車にて搬送。（熱中症）
- 室内間仕切壁施工中、体が動かなくなった。（熱中症）
- 現場で建方荷受け作業中、両手足こむら返りを発症し、作業中止休憩させたが回復しない為病院へと搬送。（熱中症）
- 現場にて土間コンクリート打設後体調不良（手足の痺れ）。（熱中症）
- 外装荷受け作業中、体調不良。（熱中症）
- コンクリートガラを拾い、トラックへ積み込み作業後、体調不良。（熱中症）
- 内壁建て込みの作業再開後、めまい。（熱中症）
- 2 階柱と 3 階梁締付中に体調の悪化、救急搬送。（熱中症）
- 11 時頃、気分が悪くなり腕の痙攣も発生したため職長へ報告し、現場仮設休憩所にて冷房を効かせ、OS1 を摂取し休息。11 時半頃、大事をとって工事管理者が病院搬送。（熱中症）
- 埋め戻し作業中、体調不良を訴え、休憩していたが回復せず、病院搬送。（熱中症）

- 排水補修の為、インターロッキング撤去作業中、立ち眩みがしたため、休憩したが回復しなかったので救急車にて病院へ搬送。（熱中症）
- 朝礼前、敷地内に停車した車から道具を建物内に運んでいる際、体調を崩し建物１階の土間上で転倒している所を発見、救急車で搬送。（熱中症）
- ３階建屋上の防水作業中、手足が痙攣。（熱中症）
- 基礎に養生シート貼り施工中、体調不良。（熱中症）
- 別現場美装後、現場に到着し、敷地内に駐車して車内で休憩していたが体調悪化し、けいれん発生。救急搬送。（熱中症）
- 間仕切壁施工中、体調が優れない為、自ら車を運転して通院。（熱中症）
- 現地屋外にてＬ型道路側溝据え付け工事の際、意識が朦朧とし、しゃがみこんだ。（熱中症）
- 分譲住宅新築工事現場内で最高気温３２℃の暑熱環境での樋切断作業時に、顔色が悪く体調が悪いと申し出があったため、同僚作業員と病院に搬送した。
- 擁壁捨てコン打設の天端均し作業中、休憩するよう職長に言われるが、本人の判断で作業を続けていたところ座り込み意識を失ったため、救急搬送し、熱中症と診断された。
- 資材を間配り中（空調服無、長時間の作業）に左手がつり、徐々に全身がつり始めたため救急車搬送した。
- 笠木の取り付け作業中、10 時頃体調が悪くなり、しばらく休憩をしていたが、体の攣れ、寒気がひどくなり、12 時半ごろ救急搬送した。
- 気温が高い環境での荷上げ作業中、体が高い外気温状況に慣れていない中で、休憩や水分の摂取・休憩頻度が不足し、熱中症を発症した
- 外部にて側溝据え付け作業時、湿度が高く環境変化に体が順応しておらず、体の怠さを感じたため休憩所にて休憩していたが、足がつりそうなため緊急搬送した。
- 土間コンクリート打設後の、天端金コテ抑え中に気分が悪くなり、筋肉痛・痙攣を発症した。
- 先行足場組立時に足が痙攣し、その場にふさぎ込み顔色が悪くなり熱中症の症状がみられたため、救急車を呼び搬送した。
- 作業終了後に現場を退場し、事務所に戻った後体調が悪くなり熱中症を発症した。
- 基礎配筋作業時、昼休憩中、本人から職長へ具合が悪い旨申告。
- 側溝の型枠を組んでいるときに、本人から職長へ身体の痙攣を伝えて休憩していたが、職長が救急車を要請した。
- 建物内でフローリングを張っているときにめまいがして倒れ、倒れている状況を他の作業員が発見した後、16 時 35 分に工事担当者が救急車を要請した。

- 荷受け作業中にWBGT値30℃の環境で体調不良を感じ、吐き気・めまい・体の重みが発症し、救急搬送した。
- 荷揚げ作業時、手足に違和感を感じる中作業を継続していて、作業完了後の帰宅時に頭痛、嘔吐がありコンビニの駐車場で休憩を取っていたところを工事担当者が発見、救急車要請。
- 先行足場組立時に手が痙攣すると申し出があり、熱中症の症状がみられたため、救急車を呼び搬送した。
- 屋上での防水工事作業で、WBGT値31℃の環境の中左脚がつり、徐々に吐き気、めまい、手足の痺れなど体調不良を感じ、救急搬送した。
- 仮囲いの撤去作業の休憩中に痙攣が起こり、熱中症を発症した。
- 休憩後に作業再開しようとした際、足や腹部がつり、その場にしゃがみ込み動けなくなった。
- 外周ブロック積みをしている時にWBGT値32 ℃の環境で作業を行っていて休憩中に手が痙攣をしているのを職長が気づき、現場所長に連絡し救急車を要請。
- 車内で昼休憩中に太ももの痙攣、頭痛、吐き気が出て、熱中症の疑いで病院へ搬送した。
- 現場から工事車両の駐車場に向かう途中、足のつりと痙攣が発症し、意識が朦朧とし、倒れ込んだところを居合わせた方が救急車を呼んでくれた。
- 休憩中に足がしびれとつりがある為自宅に帰り、一旦良くなったが、またしびれがある為、病院へ行き、熱中症と診断、点滴を打ち　院内療養。
- 地盤改良の重機操作作業中、水分を取りながら作業も、昼休憩時に気持ちが悪くなり、トイレで嘔吐。車内に戻る前に意識が朦朧とし動けなくなる。午前中の休憩は3分程度の1回のみ。重機の熱風が直接当たる場所での作業。
- 根切り工事で、タンピングによる締固めを2名にて行っていた。終了後、帰宅の準備の際、気分が悪くなり横になった。水分補給し、扇風機で身体を冷ますなどをし、若干の改善がみられたため同僚の運転にて帰宅しようとしたが、車内にて嘔吐。帰宅後、病院に送ってもらい点滴をした。
- コンクリート打設中にめまいと脱力感が発症し救急車で搬送。
- 解体工事中、作業開始後体調が優れず休憩していたが回復せず、めまいが出た為救急搬送された。
- 足場組立作業中、体の異変を感じていたが、休憩すれば回復するだろうと安易に考え休憩を続けていたが回復せず、救急車で緊急搬送される。
- 太陽光発電の配線手直しの為の足場組立中に痙攣をおこし、救急搬送された。
- 小屋裏の吹き込み断熱工事後、手足に痙攣症状が出てきた。
- 建方作業後に身体に痺れがあり病院を受診。軽度な熱中症と診断。

- 休憩を取りながら作業していたが、全身がつってしまい、熱中症と診断。
- 造作作業中に熱中症。
- 上棟作業中に熱中症。
- タイル工事中に熱中症。
- 外壁施工中、体調が悪くなり体がしびれ病院で受診。熱中症と診断。
- 足場組立作業中での熱中症。
- 上棟作業中に熱中症になった。
- 作業終了後、夜に熱中症が発生した。
- 荷揚げ作業中に、熱中症が発生した。
- ボードの荷揚げ作業中に熱中症になった。
- 上棟作業中に熱中症になった。
- 1 時間ごとに休憩を取っていたが、気温が 37 度以上だった為熱中症になってしまった。
- 熱中症からの心筋梗塞。
- 基礎工事施工現場にて外部配管工事中、熱中症により意識を失い倒れる。

災害分類＜その他＞の発生状況

- 積み重ねられた石膏ボードを移動しようとした際、腰を負傷。
- 新設用の洗面台を持ち上げた時、腰に負担かかり負傷。
- 基礎型枠脱型中、移動している時、砂利で滑り捻挫する。
- 鉄板調整、小石を取ろうと鉄板下に手を入れ、挟まれて指を骨折した。
- 土間上で、荷揚げ中の柱を手で触りながら方向転換していた際、スリングベルトが絞られて、柱についていた金具で裂傷骨折。
- 間地石積みの根切中の床付け面で根切寸法を確認中、背後法面から滑落した岩盤と正面法面の間に、左足の脛とかかとを挟まれ、骨折。
- 足場の建地解体作業中、建地 2 本を抱き合わせ固定していた自在クランプを外す際、上部自在クランプが回り倒れそうになったため、左手で押さえようとしたが支えきれず、建地と横桟の間に左手薬指が挟まり骨折。
- 親杭横矢板工事の横矢板を設置作業中、掘削底 1.7m～2.0m 上部の粘土質の土が崩れ落ち、被災者の後頭部に落下、反動で顔から地面に倒され、顔面及び頭部を強打。
- 存塀の解体工事中、ブロックを支えていた重機のバケットを一時的にブロックから離したため、ブロックが倒れ、避けきれずに右足が挟まる。
- 集合住宅の建て方で、13t クレーンを用いた胴差しの取付の際、被災者自ら合図して巻き上げた吊り治具が胴差に引っ掛かり、スリングベルトが締まっ

たことで、左示指がはさまれた。

- 工場便の荷揚げ作業で２ｔトラックから防音フロアー材２束(21kg×2＝42kg)を右肩に担ぎ上げようとした際、落としそうになり腕で無理に押さえ込もうとして右肩を脱臼した
- 隣地境界際で、掘削後に既存コンクリートブロック転倒防止の控えを設置していたところ、ブロックが倒れ、２名に激突した。
- 集合工事現場で、軒天パネル荷揚げ作業中、仮置きの軒天が倒れてきて被災者が振り返り手で押さえようとしたが、荷の重さに負け押しつぶされ左足甲を軒天に挟まれた。
- 足場解体作業中に建物側の支柱が手前に倒れてきて、外側の支柱のコマ部分に添えた手が、支柱と支柱との間に挟まれて左手を切創した。
- 集合住宅現場の基礎上で、一人で 3P の鉄骨を基礎上から下ろそうとしたが鉄骨の重みを支えきれず、土間コンと鉄骨に右手薬指を挟まれた。
- 建物内で、設備機器の取付作業をしている際、換気を怠ったため発電機により発生した一酸化炭素を吸入し、酸素欠乏並びに一酸化炭素中毒を引き起こした。
- 配線の墨出し作業をするために、２名でボードの束を手前に傾け、束の奥のボードを２枚程横に引き抜こうとしたところ、手前のボードの束が重みで倒れてしまい、被災者の足のくるぶしに衝突し、体が押し出されるようなかたちで倒れた。
- ウインチを使用して瓦荷揚げ作業中、足場上で荷受けをしていた作業員が誤って瓦を落下させ、下で荷積み準備していた被災者の持つ瓦材の上に落下。瞬間的に力がかかり肘を痛めた。
- 屋根パネル組立中、パネルに挟まれ左小指を受傷。
- 1 階壁作業中、開口 8P の壁をジャッキで起こしているときに強風で倒れ挟まった。
- 防水工事中、吹付ガンの不具合により吹付防水材が飛散し、左目眼球負傷。
- 太陽光パネル設置工事中、荷揚げ用レールに指を挟んだ。
- 外構ブロック積み工事の基礎工事中に床付け作業をしていた作業員が倒れてきた隣接地のブロック塀の下敷きになり死亡した。
- 山留等かけない状況で砕石に転圧をかけた際、隣地 CB が根元から倒れ、脚を挟まれた。
- パネル設置作業中、風で揺れた拍子に別のパネルとの間に手首を挟んだ。
- 外壁建材に養生を行った際、ブルーシートの下の養生を留める為の木端を踏み抜いた。
- ブルーシートを固定する木片の釘が上を向いていた為、気付かず踏み抜いた。

- 床の段差にて、足首を捻った。
- ドリルの刃とボードが噛み、ドリルの回転に沿って手首が回転した。
- 天井パネルから足場へ移動した際、開口部に足がはまった。
- ポールに補助ロープを巻き、抜いている時に腰を痛めた。
- 車両から降りる際、側溝の蓋の大きい箇所につま先が入り、右足を負傷。
- 梁を落とした際、右足脛横に梁受け金物が接触し裂傷。
- 荷揚げ機・梯子を解体作業中、梯子と足場に左手が挟まり裂傷。
- サイディングを運んでいた際、段差につまずいたため、持っていたサイディング材を傷つけないように左へ振ったところ、左腕を捻ってしまった。
- ランバー材をユニックで2階に引き込む際、吊っていた材料と施工済みの合わせ柱との間に右手小指を挟んでしまった。
- ダンプの荷台後方のアオリに挟まっていた砂利を取ろうとしたところ、アオリと荷台の間に指を挟んでしまった。
- 16520の障子を2名で持ち上げた際、右肩を痛めた。
- 上棟時、指が柱頭と梁下端に挟まれ負傷。
- 上棟中、梁と柱頭に指を挟み負傷。
- 室内PB施工中、振り向いた際に電線が目に入り、炎症。
- オーガドリルでU字溝掘削中に、手袋が巻き込まれ手を負傷。
- 誘導ミスにより搬入車両と電柱の間に手を挟んだ。
- 材料を取ったところ、立てかけたボードが倒れ、はさまれた。
- レッカーで梁を上げた際に梁の小口で手の指を挟む。
- 梁材を支えきれずに手の指を挟む。
- 資材を移動中に重さに耐えきれず手を挟んだ。
- 石膏ボードが倒れ手を挟まれて骨折。
- 石膏ボードが倒れ、左足を挟まれ打撲・捻挫。
- 鉄パイプを外す際に誤って目の下にぶつけてしまった。
- 住宅の基礎をコンクリート取壊機械で壊していた際、滑って機械の先端が右足貫通。
- 建方作業中膝をひねった。
- 建て方作業時、2階床張り作業中自分で持っていたベニアを右足親指に落とし骨折。
- 材料を土台脇に移動させようとした際、基礎下の地面に足を下したところ体勢を崩し足を捻った。左足外踵剥離骨折。
- 1階で材料運搬中、材料の山から降りた際に足を捻り、左足小指の骨折。

令和５年　１月～令和５年１２月低層住宅労働災害発生報告書（戸建住宅・低層集合住宅）　No１

会　社　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご担当者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

貴社の請負住宅および建売住宅のうち、３階建以下の戸建住宅･集合住宅工事において発生した災害（**通勤災害を除く**）で**休業１日以上の**ものについて、ご報告ください。
貴社が、以下Ａ～Ｆの団体に複数加入されている場合、各々の団体から当調査用紙が配布されますが、報告書は工法別に集計して各団体へ返送して下さい。

ご注意：①同じ報告書を複数団体へ提出しないようにお願いいたします。（工法別の集計報告書を、各々該当する団体に提出することはかまいません。）
②労働災害発生件数が０件でも完工棟数等をご記入のうえ、報告書をご提出下さい。
（貴社が加入されている団体の労災発生率を調査するために、ご協力をお願いいたします。）
③増改築・リフォーム工事を関連会社等別会社（A～F 団体未加入）が元請として請負っている場合は、それを計上する必要ありません。

以下１～４の各質問にご回答ください。

１．貴社加入団体（複数加入なら該当団体全てに〇印を）
Ａ．プレハブ建築協会　Ｂ．日本木造住宅産業協会　Ｃ．日本ツーバイフォー建築協会
Ｄ．全国住宅産業協会　Ｅ．輸入住宅産業協会　Ｆ．JBN・全国工務店協会

２．当報告書の提出先団体（該当団体１つに〇印を：同じ報告書を複数団体へ提出しないで下さい。）
Ａ．プレハブ建築協会　Ｂ．日本木造住宅産業協会　Ｃ．日本ツーバイフォー建築協会
Ｄ．全国住宅産業協会　Ｅ．輸入住宅産業協会　Ｆ．JBN・全国工務店協会

３．まとめ（工法区分ごとに集計していれば工法ごとに記入して下さい。該当工法を〇で囲んで下さい。）
工法記号(イ･ロ･ハ･ニ･ホ･ヘ･ト･チ)
イ. 木造在来軸組　ロ．ツーバイフォー　ハ．木質プレハブ　ニ．鉄骨在来
ホ．鉄骨プレハブ　ヘ．コンクリート在来　ト．コンクリートプレハブ　チ．その他(混構造等)

貴社の令和５年１月～令和５年 12 月)の工事棟数（工法別）

工法 ホ・ヘ・ト・チ イ・ロ・ハ・ニ	新築工事 年間 完工棟数	棟
	増改築･リフォーム 年間 完了件数	件
	解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和５年１月～令和５年 12 月)の工事棟数（工法別）

工法 ホ・ヘ・ト・チ イ・ロ・ハ・ニ	新築工事 年間 完工棟数	棟
	増改築･リフォーム 年間 完了件数	件
	解体工事 年間 完了件数	件

貴社の令和５年１月～令和５年 12 月の労働災害発生件数（上表工法分）

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件

貴社の令和５年１月～令和５年 12 月)の労働災害発生件数（上表工法分）

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件

・労働災害年間発生件数無しの時は０件とご記入ください。
・集合住宅は戸数ではなく棟数にてご記入ください。

４．労働災害年間総発生件数内訳（休業１日以上）
＊別紙の**労働災害年間総発生件数内訳（休業１日以上）報告書**に記入して下さい。用紙が足りない場合はコピーしてご使用下さい。
＊工法ごとに集計している場合は、１工法１用紙にご記入下さい。
＊別添の「**労働災害分類番号一覧表**」ならびに **報告用紙Ｎｏ２に記載した記入例**を参照してご記入ください。

以　上

令和５年１月～令和５年１２月低層住宅労働災害発生報告書（戸建住宅・低層集合住宅 No 2
労働災害年間総発生件数内訳(休業１日以上)報告書

会社名

当用紙を工法区分ごとに集計している時は以下の工法区分の一つに〇を付けて下さい。

イ．木造在来軸組　ロ．ツーバイフォー　ハ．木質プレハブ　ニ．鉄骨在来
ホ．鉄骨プレハブ　ヘ．コンクリート在来　ト．コンクリートプレハブ　チ．その他(混構造等)

※記入欄が足りない場合は、同じ書式で別紙にご記入下さい。

No	災害発生日時			被災者区分	年令	性別	作業分類	職種分類	災害分類	工法区分	工事種別	休業日数別					
	月･日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡
1																	
	災害分類: 90.その他 記入欄			作業分類:13.その他 記入欄			職種分類: 26.その他 記入欄			墜転落: 19.その他 記入欄				切れ･こすれ: 29.その他 記入欄			
	車両系建設機械：36.その他 記入欄			発生状況：													
2																	
	災害分類: 90.その他 記入欄			作業分類:13.その他 記入欄			職種分類: 26.その他 記入欄			墜転落: 19.その他 記入欄				切れ･こすれ: 29.その他記入欄			
	車両系建設機械：36.その他 記入欄			発生状況：													
3																	
	災害分類: 90.その他 記入欄			作業分類:13.その他 記入欄			職種分類: 26.その他 記入欄			墜転落: 19.その他 記入欄				切れ･こすれ: 29.その他記入欄			
	車両系建設機械：36.その他 記入欄			発生状況：													
4																	
	災害分類: 90.その他 記入欄			作業分類:13.その他 記入欄			職種分類: 26.その他 記入欄			墜転落: 19.その他 記入欄				切れ･こすれ: 29.その他記入欄			
	車両系建設機械：36.その他 記入欄			発生状況：													
5																	
	災害分類: 90.その他記入欄			作業分類:13.その他記入欄			職種分類: 26.その他記入欄			墜転落: 19.その他 記入欄				切れ･こすれ: 29.その他記入欄			
	車両系建設機械：36.その他記入欄			発生状況：													

※記入例

No	災害発生日時			被災者区分	年令	性別	作業分類	職種分類	災害分類	工法区分	工事種別	休業日数別					
	月･日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡
記入例①	6・19	月	16:00	1	45	1	6	4	13	イ	2		〇				
	災害分類: 90.その他 記入欄			作業分類:13.その他 記入欄			職種分類: 26.その他 記入欄			墜転落: 19.その他 記入欄				切れ･こすれ: 29.その他 記入欄			
	車両系建設機械：36.その他 記入欄			発生状況：外壁張替え作業中に足をすべらせて2階作業床から転落。													
記入例②	7・25	火	10:30	1	32	1	1	1	80	ハ	3			〇			
	災害分類: 90.その他 記入欄 プライヤーで指を潰す。			作業分類:13.その他 記入欄			職種分類: 26.その他 記入欄			墜転落: 19.その他 記入欄				切れ･こすれ: 29.その他記入欄			
	車両系建設機械：36.その他 記入欄			発生状況：鉄板をプライヤーではさんで引きはがそうとし、はさむ時に指を潰してしまった。													

令和５年１月～令和５年１２月分調査 労働災害分類番号一覧表

被災者区分	1. 労働者（日本人）	2. 労働者（外国人）	3. 中小事業主	4. 一人親方

性別	1. 男	2. 女

作業分類							
	1. 解体	2. 基礎	3. 足場	4. 建方	5. 屋根	6. 外部造作	7. 内部造作
	8. 外装	9. 内装	10. 設備	11. 外構	12. 加工場	13. その他(作業を記入)	

職種分類								
	1. 解体	2. トビ足場	3. 基礎		4. 大工	5. 防蟻	6. 板金	7. スレート
	8. 瓦	9. 防水	10. コーキング		11. 左官	12. サイディング		13. タイル
	14. 塗装	15. クロス	16. 建具		17. タタミ	18. 電気	19. 給排水	20. ガス
	21. 空調	22. 造園	23. 現場監督		24. 納材	25. 産廃	26. その他(職種を記入)	

災害分類（型・起因）								
	墜転落	11. 屋根	12. 梁		13. 足場	14. 開口部	15. ハシゴ	16. 脚立
		17. 脚立足場	18. 車荷台		19. その他(記入してください)			
	切れ・こすれ	21. 丸ノコ	22. 釘打機		23. 金槌	24. ノミ	25. 木材加工機	26. バール
		27. カッター	28. グラインダー			29. その他(記入してください)		
	車両系建設機械	30. クレーン	31. ドラグショベル(ユンボ)			32. ハンドガイドローラー		33. ランマー
		34. ユニック車	35. トラック		36. その他(機械名を記入してください)			
	40. 激突							
	50. 激突され							
	60. 飛来落下							
	70. 転倒							
	80. 熱中症							
	90. その他(型・起因を記入してください。表現は用語等を気にせずに記入してくださってかまいません。)							

工法区分				
	イ. 木造在来軸組	ロ. ツーバイフォー	ハ. 木質プレハブ	ニ. 鉄骨在来
	ホ. 鉄骨プレハブ	ヘ. コンクリート在来	ト. コンクリートプレハブ	チ. その他(混構造等)

＊型式適合認定工法以外は、イ.木造在来軸組　ロ･ツーバイフォー　ニ.鉄骨在来　ヘ.コンクリート在来　チ.その他(混構造等) の中から選択してください。

工事種別	1. 新 築	2. 増改築･リフォーム	3.解 体